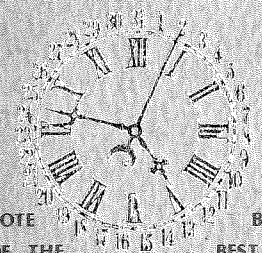


RESERVE®



THIS NOTE BOOK IS
MADE OF THE BEST QUALITY
PAPER AND DESIGNED BY YOUNG
MEN FOR THE YOUNG
NO. N1052 100

国際私法学会
(記録)

— 第56回大会(1977年秋)より —

第57回大会(1980年春)まで

昭和24年11月4日設立

YOUR SCHEDULE



1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	

1977春

第56回大会

1977年5月23日

10:00 ~ 18:00

於東京大学(学生会館分館)

I. 研究報告会 (10:00 ~ 12:00, 14:00 ~ 16:00)

(1) 第13回「1-9」国際私法会議の成果について

報告 東京大学 池原孝雄氏

法務省 千種秀夫氏

弁護士 高桑昭氏

司会 京都大学 沼池良夫氏

(但し、千種氏は都合により欠席、池の二氏により報告が予定された)

(2) ブラジル1969年外国人法について

報告 東京大学 二宮正人氏

司会 神戸大学 西賢氏

(1) について 松岡、谷川、早田会員から質問があり、つづいて池原氏の補足説明を待たせ、沼池会員の質問があった。

(2) について 池原、二宮、谷川、三浦、山本、松岡、沼池の各会員から質問があった。

II. 理事会 (12:30 ~ 14:00)

出席者 池原、畑場、沢木、沼池、西、早田、本浪、三浦、山田、(鳥居)

1. 文献目録作成の件。

○池原理事長より、若手会に対する国際私法及び外国実務法に関する文献目録の作成の仕事が着々と進められており、予定した出版に決定した5万円の他に更に印刷は15~20万円位必要であるとの報告があった。この報告があった。

○全員異議なく承認。

○なお、文献目録は300部位刷り決定し、1部1000円位の販売価格は、学会から支出した費用は十分に回収されるため、上記の支出は一時的な赤字となる。

○理事会では、若手会員の文献目録作成作業に対し、何らかの報酬を考へようという事と一致。

2. 事務担当者交替の件。

従来学会事務は島居が担当して来たが、昨秋の島居の勤務先の変更により、学会事務担当者は、東京大学の石里氏に代ったこと。理事長より報告された。但し、今回は、便宜上、理事会の記録は島居がとることとした。

3. 会計報告の件。

1976年度決算報告は島居より述べ、承認。

4. 新入会員の件。

大瀧智彦 成城大学専任講師

徳岡卓樹 東京大学大学院

以上の二名の入会を承認。

5. 次期学会の件。

(1) 場所：関西を調べたが、関西の大学に当番校を定めない。候補として大阪大学の名が挙げられた。大阪大学の管理の場合は、関西大学で引合の旨の旨の本浪理事の発言があった。

(2) 開催時期：従来より、国際法学会の開催時期は、大阪学院大学で、10月15日(土)と16日(日)、又は10月22日(土)と10月23日(日)に開かれる可能性が強いこと。国際法学会の方は、10月17日(日)又は10月24日(日)に開く事を承認。

(3) 報告者、テーマ：まず、国際法学会研究連絡委員の山田理事より、国際法学会の国際法研究会の報告者として、田村精一氏を予定されたり、テーマは報告者の自由に委ねられる旨の報告があった。国際法研究会の方は、池原理事長より、6月に高松会場で、1-2日国際法研究会の特別会期に出席されること。その報告は、報告者は、報告者の発言あり、全員賛成。もう一人は若手会員の石里と一致。横山潤。

石里一臺と雨比の名が挙げられた。研究歴からいって横山氏のほうが先輩にあたり、その横山氏に、そのことについて、東海環理事より、級は現在博士論文の執筆にとりかかっていること。学会で報告するに相応し、その秋の2-3月準備するに決まると判断して、その報告は、その判断は、おぼろしく可能であると思われ、6月半ばまで返事を得てほしい、もし報告が不可能な場合には、その論文を完成された石里氏に依頼して、その発言あり、全員承認。

また、この予備の候補者として、曾野、田中(徹)、砂川の名が挙げられた。

また、報告者の決定については、従来通り、国際法学会の研究連絡委員が、国際法学会の研究連絡委員も兼ねて、これを担当することと承認。

6. 役員改選の件。

○名誉理事の件：理事長より、国際法学会に在る、国際法学会名誉理事を定めては、その発言あり、全員賛成。名誉理事は、久保、斎藤、川上、折茂の名が挙げられ、変更を監視を推すこと、全員賛成。

○理事の改選：理事長より、理事、監事の改選期は、すでに到来して、子故理事会原案を作成して、給金に決りた、その発言があった。理事会は、次の理事長案に全員賛成。

理事：名誉理事に推薦された4理事を除く(現理事(池原、本浪、三浦、山田)は、北海道、東北方面から、欧龍雲会員を、関西より西の方面から、丸岡、松雄会員を加えて、2名を新理事とする。

監事：岡本善八会員を新監事とする。

理事長：新理事会に、その選出あり。

IV. 総会

(4:10 ~ 4:40)

(1) 新入会員の件。

理事会議長4の二氏を紹介。

- (2) 会計報告。
- (3) 文献目録の件。
理事会議事 1/22 報告、了承。
- (4) 次期学会の件。
理事会議事 5/12 報告。
- (5) 役員改選の件。
理事会議事 6/12 報告、了承。
存子、理事長は、新理事会 1/22 の巨匠の結果、
池原現理事表が再選された。

IV. 懇親会 (17:00 ~ 19:00)

上野 韻松亭にて、会員多数参加。

V. 総会出席者

林場 準一	池原 秀雄	石黒 一彦	江泉 芽信
尾崎 正利	岡村 堯	大原 栄一	西 龍雲
大橋 貞貴子	岡本 善八	木棚 照一	後藤 明史
越川 純吉	沢木 敬郎	杉田 嘉章	清水 幸雄
杉江 徹	関口 晃	高桑 昭	沼池 良夫
田村 精一	谷川 久	田辺 信彦	鳥居 淳子
林 祐子	早田 号郎	古木 昭美	本浪 章市
松岡 博	三浦 正人	山内 雅介	山田 鏡一
山本 敬三	横山 潤	志崎 和	加来 昭隆
笠原 俊彦	佐藤 毅夫	佐藤 哲夫	田中 徹
二宮 正人	西 賢	三ツ木 正次	砂川 恵信
丸岡 敏雄	大塚 哲慶	徳岡 卓樹	高喜 寛
能見 良子			

1977年秋 第57回大会

1977年10月24日
10:00 ~ 19:00
於 大阪大学法・経学部講義室

I 研究報告 (10:00 ~ 12:00) (14:00 ~ 16:00)

- (1) 法廷地為替管理法の適用について
報告 一橋大学 横山 潤氏
司会 神戸大学 西 賢氏
- (2) 代理の専横法に因つたハーグ条約案の概要
報告 弁護士 高桑 昭氏
司会 東洋大学 早田 号郎氏

- (1) 1/22 の意向者: 高桑, 川上, 松岡, 川又, 林脇, 西の各会員
- (2) " : 沢木, 林脇, 川又, 池原, 西の各会員

II 理事会 (12:00 ~ 14:00)

出席者 池原, 山田, 早田, 沼池, 西, 関本, 本浪, 三浦, 林場, 川上, 沢木の各理事・監事。(石黒)

- 1. 学会名で行つた事業の報告
K. Prinsling 氏 スタッフ・ゼミナール 10/5 於東京大学
Contract in P.L.L. 1/27
Müller-Freienfels 氏 スタッフ・ゼミナール 11/7
憲法と国際私法

- 2. 外国実定法に因つた「涉外私法関係文献目録」の件
学会援助につき、今春の学会にて、特別会計からそのための必要経費の立替支給を承認した。計画完成し、1,700円を返戻した。その内容の不備が各理事により指摘された。

学会名の出版中之問題あり、販売も21万7000円にあり
 本棚会員の事情も聴取した。編集方針が不明確な
 こと、内容的に脱落が多く、また、若手会内部の意識
 等の不統一が明かされた。補訂版も作られたが、出た
 方がよいことになり、本棚会も、資金的によいこと
 なることをよいと発言した。300部印刷し、その経費は
 33万円で、うち20万円は、昭52.9.26 学会特別会
 計より、池原理事長の指示で送金済だが、残り13万
 円の扱いか問題に存した。しかし、結局、時間切れとなり、
 この問題の担当者で理事会の中での決め、若手会の方で合同
 の検討することになった。

3 新入会員の件

大阪大学 池上剛雄氏

承認

4 長谷川理衛先生御逝去について報告

5 次期大会の件

(1) 場所 神戸大学

(2) 時期 一応 5月22日 ということになった

(3) 報告者・テーマ・方式について

1. 谷川会員 — 万国海法会(リサーチ・ネットワーク)の今後
 務状決定の海上衝突の解決法と
 裁判管轄の条約案について
2. 石里会員 — 助手論文について

6. 文献目録について

山田・沼池の各理事が若手会と話し合っていることになった。

III 総会 (16:10 ~ 16:25)

理事会の審議に基づき理事長より以下の報告がなされた

1. 学会名と行った事業の報告
2. 文献目録の件について
3. 新入会員の件について
4. 長谷川理衛先生の御逝去について

5 次期大会について

IV 懇親会

大阪大学 待兼山会館にて開催、会員多数出席

V 総会出席者

坪嶋準一	池原厚雄	石里一憲	江泉芳信
玖龍雲	岡本善八	及崎正利	大経隆彦
加来昭隆	川上太郎	川又良也	河村博文
本棚照一	桜田嘉章	佐藤哲夫	佐藤哲夫
沢本敬郎	杉江徹	須藤次郎	多喜寛
田辺信彦	沼池良夫	田村精一	徳岡卓樹
鳥居淳子	西賢	二宮正人	林脇仁子
早田芽郎	平林真一	本浪章一	松田博
三浦正人	山内雅介	山田鏡一	山本敬三
横山潤	海夫沢美広	高桑昭	曾野和朗
池上剛雄			

以上 41名

1978年春

第58回大会

1978年5月15日

10:00 ~ 19:00

祐神戸大学六甲台教職員会館

I 研究報告会 (10:00 ~ 12:00) (14:00 ~ 16:00)

(1) 中が国際私法における本国法主義と例外的事案の救済
— 準拠法選択の妥当性と国際私法上の交致 —
報告 東京大学 石黒一憲氏
司会 北海学園大学 政 龍雲氏

(2) 「船舶衝突に関する準拠法・裁判管轄・判決の承認執行
についての条約案」について
報告 成蹊大学 谷川久氏
司会 大阪市立大学 三浦正人氏

(1) について、林脇、松岡、本浪、早田、塚場、木棚、山田、川又、
越川の各会員の賛同ないし意見の表明があった

(2) について、本浪、沢木、大須賀、松岡、越川、早田、川又、高桑
の各会員の賛同があった。

II 理事会 (12:00 ~ 14:00)

出席者 池原、沼池、塚場、沢木、西、早田、本浪、三浦、
山田、政、丸岡、の各理事、及び岡本監事(石黒)

1 報告事項

- (1) ILA マニラ会期出席者決定の件
従前の例に従い、国際法学会と協議した上で、川又会
員に出席頂くことになったこと
- (2) 科研費審査委員推薦の件
山田、早田両会員に依頼することにしたこと

2 協議事項

(1) 新入会員の件

佐久間 政和氏	東大修士一年
永沢 信義氏	弁護士
相沢 吉晴氏	東北大博士前期一年
道垣内 正人氏	東大助手

以上4氏の入会も承認

会計報告の件

(2) 1977年度決算報告の件、承認

(3) 次期大会の件

(イ) 日時 10月27日

(ロ) 場所 一志立教大学 (い) にしてを之。

(ハ) 報告者・テーマ

報告者として、浜上、大須賀、渡辺各会員の名が考かり、
テーマとしては、浜上氏には製造物責任、大須賀氏には、
国際民訴内縁の報告を依頼していることになった。

(4) 理事長交替の件

池原理事長より退任したい旨の意見表明があった。理由は、
理事長も1期目は、3年つとめてしまったため、2期目は現在、
任期途中のため、既に通算4年、実質2期つとめたので、
退任したいとのことであった。途中池原理事長は退席し、
各理事の意見表明があり、退任を了承した上で、新理事長
の選任に移り、結局、時間切れとなり、経緯にのぼる
池原・沼池両理事が話し合った上で、総会までに決定し、
これを理事会における互選の結果として承認した。

(5) 文献目録作成問題の件

沼池・山田両理事より、若手会との話し合いの結果の報
告があり、結局、補訂版の作成の計画の執行は保留す
ることになり、若手会立替金については、経会所有の資料を
処分してあることになった。

1978年秋

第59回総会

1978年10月23日(月)

10:00 ~ 19:00

祐立教大学エム・ホール2会館

III 総会 (16:00 ~ 16:30)

池原理事長より、新入会員、会計報告、次期大会について報告があった。さらに、ILAマニラ会期出席者について報告があった。さらに、池原理事長の退任、理事の互選により、湯池新理事長が就任した旨報告があった。また、理事会に於いて理事追加の提案あり、理事会原案の川又会員の理事兼任の提案あり、異議なく承認された。

IV 懇親会 (17:00 ~ 19:00)

池原・湯池新理事長と神戸大学法学部長大竹啓男教授の挨拶あり、会員多数参加の上、研究会場で開催された。

V 総会出席者

- | | | | |
|------|-------|-------|------|
| 相沢吉晴 | 佐場準一 | 池原李雄 | 石黒一憲 |
| 江泉芽佳 | 政 龍重 | 岡本善八 | 尾崎正利 |
| 大須野慶 | 加来隆昭 | 川上太郎 | 川又良也 |
| 河村博文 | 木棚照一 | 越川純吉 | 桜田素章 |
| 佐藤哲夫 | 佐藤幸夫 | 沢木敬郎 | 杉江 徹 |
| 経藤次郎 | 砂川恵伸 | 菅野知朗 | 高桑 昭 |
| 多喜 寛 | 田中 徹 | 谷川 文 | 田村精一 |
| 湯池良夫 | 道垣内正人 | 徳岡卓樹 | 永沢信義 |
| 西 賢 | 二宮 正人 | 林裕一子 | 早田芽郎 |
| 平林真一 | 本浪 章市 | 牧野通晃 | 松岡 博 |
| 丸岡松雄 | 三浦 正人 | 村岡 二郎 | 矢吹徹雄 |
| 山内桂介 | 山田 鏡一 | 山本敬三 | 植山潤 |

以上 49名

I 研究報告会 (10:00 ~ 12:00, 14:00 ~ 16:00)

(1) 婚姻に於ける法律回避

報告者	広島大学	山本敬三氏
座長	大阪市立大学	三浦 正人氏

(2) 財産所在地の裁判管轄権について

報告者	島根大学	渡辺惺之氏
座長	関西大学	本浪 章市氏

II 理事会 (12:00 ~ 14:00)

出席者 湯池、池原、早田、山田、政、三浦、西、川又、本浪、佐場、川上、沢木、丸岡の各理事及び岡本座長

1 協議事項

(1) 新入会員承認の件

大西公照(キリキ)氏	大東文化大学法学部助教授
青木 清氏	名古屋大学法学研究科博士課程
佐野 寛氏	前期課程
鈴木登夫氏	"

以上 4名を入会員承認した

(2) 次期総会の件

- (1) 時期：昭和54年5月14日(月)とする
- (2) 報告者：田中徹、池田文雄、島野寛子、徳岡卓樹の各氏を経神に考、在り、研究連絡委員に検討を乞はる。

左下、国際法学会における国際私法の報告者については、桜田、加来、佐藤(幸)、多喜、田辺、渡辺氏等が候補に挙がったが、従来以上の経緯もあり、砂川氏に今回も打診し、同氏が不可決の場合には、桜田氏に交渉することになった。

(3) 第60回総会記念事業に関する件

理事の中か、来々1979年の春には、第60回総会を迎えるのに、何れもこれを記念し有意義な事業を計画してはどうかという意見が出た。協議の結果、会費よりパイプがあるが、これを提出してもいい、検討することにし、左4あげ、特別の行事も行わないことになった。

(4) 会費滞納者の処理の件

長年会費も滞納している会員については、学会通知等の費用の負担も、処理しにくいなどの意見が出た。協議した結果、本学会のより小規模の学会において、会費数を減らすことには、内題があるとして、会費収入の増進を目的に止め、当面、除名はしないことになった。

2 報告事項

学会所有の資料も処分し、若手会への一時金に充てたこと報告があった。

III 総会 (16:00 ~ 16:20)

新入会員、次期総会及び第60回総会記念事業計画について、溜池理事長より報告があった。

IV 懇親会 (16:30 ~ 18:30)

溜池理事長の挨拶があり、研究会場において、会員多数の参加の上、開会された。

V 総会出席者

柴場 洋一	池原 孝雄	石黒 一憲	岩崎 柏
江泉 芳信	政 龍 雲	岡本 善八	尾崎 正利
加来 昭隆	川上 太郎	川又 良也	木 柳 照一
砂川 純吉	佐々木 政和	桜田 嘉孝	佐藤 哲夫
澤本 亨二郎	杉江 徹	佐藤 次新	高 桑 昭
田中 徹	田辺 信秀	谷川 久	田村 精一
溜池 良夫	土井 輝生	道垣内 正人	徳田 卓樹
鳥居 淳子	西 賢	二宅 正人	決上 創雄
林 勝一	早田 芳郎	古本 睦美	本浪 章市
松岡 博	丸岡 松雄	三浦 正人	三木 正次
山内 雅介	山田 鏡一	山本 敬三	樋山 潤
渡辺 惺之	佐野 寛	青木 清	鈴木 登子
能見 良子			

以上 49名

1979年春

第60回総会

1979年5月14日(月)

10:00 ~ 18:30

神戸大学新研究室会議室

I 研究報告会(10:00~12:00)(14:00~16:00)

(1) フランス民法第310条について

神戸大学 西 賢 氏

(2) 涉外親子関係存否確認訴訟をめぐって

弁護士 田中 徹 氏

II 理事会(12:00~14:00)

出席者: 森嶋, 池原, 改, 川上, 川又, 澤木, 沼池,
西丸岡, 早田, 三浦, 本浪, 山田の各理事,
名誉理事及び田本監事

1. 新入会員の件

森 征一 氏

慶応義塾大学助教授(西洋法制史)

鈴木 敏英 氏

内閣大学大学院博士課程(国際社会)

平 良 氏

慶応義塾大学教授(英米法)

以上三氏の入会を承認した。ただし、平氏は以前会費を納めたが、何時からか不明である。会費名簿より脱落していた。会費の追徴に肉保の新人会費として認められた。

2. 会計報告の件

沼池理事長より、1978年度決算について報告があり、これについて協議し、承認した。

3. 未納会費徴収の件

以前の理事会において、3,000円を限度として未納会費を

徴収することに、総会通知に督促状を添付して送付することに決めたこと、この手続を今後も行いたい旨理事長より申し出あり、了承した。

4. 役員改選の件

規約11条により、役員任期は2年であり、川又理事長を除く他の全役員任期が満了したことに、この改選につき、総会に諮る原案につき、理事長より提案があり、川又理事長の任期を今後他の役員のとおりと同じにするため、同理事長は一度辞任することに、同理事長を含め、全役員再任の線に総会に諮ることに了承した。

5. 次回総会の件

(1) 時期 昭和54年10月22日(月)予定

(2) 場所 大阪市立大学で予定

(3) 報告者 在外研究より帰国予定の栗田, 木棚, 加来の各氏
日本への研究の進め方から帰国予定の二宮氏のほか、改, 多志, 山田の各氏が候補者に挙げられたが、結局、徳岡氏と森征一氏に決定した。

6. 寄附金受入の件

高亮会より、60,000円の寄附の申し出があり、その受入について理事長より提案があった。右金金は、高亮会員が外国学者を招待した際の剰余金であり、この金については池原理事長より補足説明があった。特別収入であること、特別会計基金に入れたこと、寄附の申出を受入れたことに承認した。

7. 高亮会員の学会運営等に関する提案の件

高亮会より、川又理事長を通じて、(1) 学会開催の予告を早期にすること (2) 総会を年2回開くこと (3) 報告内容の向上策 (4) 会費を増やすこと(定務家, 私法学者を入手)等について提案があり、これについて意見の交換があった。(1)は、費用の肉保もあり困難 (2)は、理行面から逆当、(3)(4)は従来からその旨に努力してきたこと、特に(3)は改められた方法も考へる必要は在りとの意見が増えた。

右記による旨の発言があった。国際法学会の統一ラークを行
わねばならない。これは考案者の遺言で国際私法団体の報告者
が得たものである。石川教授は個別報告を依頼するに
て結局了承した。

国際私法学会の報告者としては、桑田、木棚、加藤、二宮、政
氏らの他に、岸が加わったが、二宮氏と政氏が候補に選ばれた。

2. 次回総会開催校の件

総会を引受ける大学については、大学予算の作成時期との関係
で、来年度に南大の予定の次回総会についても、今の時
期、すなわち、毎年度の理事会で翌年の春秋二回の開催
校を決めるに依頼するに希望している意見が理事長より出
された。これに対し、国際法学会の日程、開催校が定ま
らないと国際私法学会の総会の方でも決め難い事情があるが、
次回回は、国際法学会が東京の南大の場合、国際私法
学会の開催校としては、成城大学に依頼することを承知
した。これ、今後、この問題については、国際法学会の意向を
たの上で、理事長にどう処理を任ずることにする。

3. 事務所移転の件

規約第2条には、国際私法学会の事務所を東京大学法学部
研究室に置くこととされているが、湯池理事長の就任に伴
い、事務所を移すことについて検討された。理事長からは、(1)
規約第17条に基づき、規約第2条を改正し、事務所を移
転すること、又は(2)規約上の事務所は現行規約通りとし
て、事実上の事務所を京都大学法学部研究室に置く
こと、の二案を示した。結局、(2)の案に決定した。法学
部会議等への連絡先も事実上の事務所を届出すること
を承知した。

なお、事務担当者として、従来石黒会室に依頼して来たが、
今後は当分の間、清河比(京都産大助教授夫人)に依頼し
て、適當な印刷料を支払うこととされた。なお、従来刊行
する事務補助者の印刷料は支払はれない旨の報告もされた。

III 総会 (16:00 ~ 16:30)

理事長より、理事会における決定に基づき、次回総会
の時期、開催校等につき、本学会の事実上の事務局の
移転につき報告がなされた。

IV 総観会 (16:30 ~ 18:30)

法学部会議室において、会費少額の出席の下に開催
された。三浦教授と湯池理事長の挨拶があった。

V 総会出席者

青木清
池原孝雄
岡本善八
川又良也
佐野寛
鈴木敏英
多喜寛
田村精一
島居淳之
早田芳郎
松岡博
山本雅三
渡辺惺之

坂嶋準一
江泉芽信
尾崎正利
河村博文
澤本敬郎
砂川恵伸
田辺信彦
道垣内正人
西賢
本浪章市
丸岡裕雄
山田鏡一
権山潤
後藤明史

石黒一憲
政龍雲
川上太郎
杉田素章
鈴木登子
園口晃
湯池良夫
徳岡卓樹
瀧上則雄
牧野通晃
三浦正人
山戸嘉幸
和田誠一

以上 41名

1980年春

第62回総会

1980年5月19日(月)

10:00 ~ 18:30

社団法人同志社大学法学部

I 研究報告会 (10:00 ~ 12:00) (14:00 ~ 16:00)

- (1) 国籍法に於ける両姓平等
東京大学 二宮正人氏
- (2) 国際私法に於ける時局的要素の考慮に因する一考察
北海学園大学 政 龍雲氏

II 理事会 (12:00 ~ 14:00)

出席者: 沼池理事長, 池原, 山田, 本浪, 西, 川又, 澤木, 坪場, 政各理事及び 岡本監事

1. 次回総会の件

前回の総会の際, 開催校については, 成蹊大学に依頼した。しかし, 成蹊大学の都合で, 以後同大学島居助教より引受ける旨の返事があった。これに理事長より報告があり, 同大学の開催をこれに決定した。

開催時期については, 国際法学会が10月25日~26日に成蹊大学で行われるのを, 翌日の10月27日(月)とすることに決定した。

つきに報告者については, 国際法学会の研究連絡委員会に於いて, 成蹊大学で行われる次回国際法学会では, 22日は海洋自由に国家主権をテーマにシンポジウムも行うことに予定された。船籍や便宜置籍船の問題と海商私法の成立過程の問題とについては, 海法に造詣が深い研究者に報告を依頼した。この意向から報告が, 同委員会委員(坪場氏以外)にあり, 協議の結果, 前者の問題については佐藤幸夫氏に依頼し, 後者については谷川久氏に依頼することとし, 両氏に差支りない場合には, 山内氏又は川又氏に依頼する

ことにすることに決定した。

国際私法学会の報告者としては, 桑田, 三浦, 木棚, 味, 浅上, 石橋, 田辺, 佐野, 青木, 岡本各氏の名を挙げられ, 各氏にこの事情も考慮し, 桑田, 三浦, 岡本氏に依頼することに決定した。

2 次回総会の件

前回の総会において, 秋の理事会と翌年の春秋両総会の開催校も予定しておくこと, 望ましい。このことより, 次回総会の開催校として 青山学院大学, 中央大学, 上智大学も予定校として交渉することに決定した。

3. 1979年度決算の件

理事長より 1979年度決算案について説明があり, 岡本監事の監査も得た旨の報告もあり, 異議なく承認した。

4. 報告事項

- (1) 久保岩太郎名譽理事のご葬儀にあり, 国際私法学会より供花を行った(供花料 15,000円)旨報告があった。
- (2) 日本学術会議より登録凍結の会員の登録促進の依頼があった旨報告あり, 理事長より総会でもこの旨報告することにされた。

III 総会 (16:00 ~ 16:30)

次回総会及び次回総会の件, 1979年度決算につき報告あり, 更に久保名譽理事のご逝去, 学術会議からの会員登録の促進を依頼について報告があった。

IV 懇親会 (16:50 ~ 18:30)

ホテルフジタ京都において, 会員多数の参加の下に開催された。沼池理事長及び同志社大学法学部長藤島龍太郎教授の挨拶の後, 歓談が続いた。

▽ 総会出席者

青木 清
石黒 一憲
岡本善八
尾崎正利
越川 純吉
佐野 寛
鈴木敏英
桜田嘉章
道垣正人
二宮 正人
松田 博
山内 惟介
横山 潤

柴場 準一
江泉 芽信
大庭 聖彦
川上 太郎
佐藤 哲夫
澤木 敬郎
砂川 恵伸
高桑 昭
鳥居 淳子
本浪 章市
丸岡 松雄
山田 鏡一
藤辺 惺之

池原 本雄
政 龍雲
大西 公照
川又 良也
佐藤 幸夫
杉江 徹
関口 晃
湯池 良夫
西 賢
畑 肇
牧野 通晃
山本 敬三

以上 38名

1980年10月27日(月)

10:00~18:30

於 成城大学会議室

I 研究報告会(10:00~12:00)(14:00~16:00)

(1) EC契約準拠法条約案について
同志社大学 岡本善八氏

(2) 製造物責任の準拠法に関するハーグ条約について
大阪大学 濱上則雄氏

II 理事会(12:00~14:00)

出席者: 溜池理事長, 柴場, 政, 川又, 川上, 桑田, 澤木,
丸岡, 三浦, 本浪, 西, 山田の各理事, 名誉理事
及び岡本監事

1 新入会員の件

理事長より次の両氏の入会が規約6条により理事会に諮り承認された。

奥田安弘氏 神戸大学助手(国際取引法専攻)
岩崎一生氏 愛媛大学助教授(英米法, 国際私法専攻)

2 次回総会の件

開催校については、前回の理事会においては、青山学院大学、上智大学、中央大学が候補として挙げられたが、先般青山学院大学より開催校を引受けの旨の内部交渉があったこと、理事長より報告あり、同大学を次回総会の開催校に決定した。

開催時期については、国際法学会大会の翌日の1981年5月18日(月)とすることに決定した。

報告者については、理事長より、従来の慣行に従い、現在開催中のハーグ国際私法会議が14会期出席者に同会議の報告を依頼したい旨の提案があり、これを承った。もう一名の報告者に

ついでに、国際法学会において砂川氏に報告を依頼するに在りて
 いのちのち、そのことと考慮して協議するにせし、木棚氏
 のほか、若し研究者にも依頼しては如何と意見あり、相沢氏
 (東北大学)が候補に挙げられた。同氏に依頼するに在りた。

3 次回総会の件

1981年秋は、国際法学会大会を広島に行うことも交渉中であるので
 も、その際、広島で行う場合には国際私法学会も広島又はそれに
 近いところを開きたい旨、理事長より発言があり、出来れば肉僱者、と
 くに広島大学の山本会員に負担をかける形での広島で会場を求め
 ることも可能とした。また、広島を開くことにすれば、肉僱地
 区に肉僱校を求め、これに理事長に一任する事も併せ
 承った。

報告者としては、岩崎氏、石黒氏、丸岡氏、笠原氏、桑田氏、青木氏、
 佐野氏が候補に挙げられた。また、予後、若し研究者の報告を
 二件行うことが提案されたが、今後このことと考慮するにせし、決定
 はしなかった。

III 総会 (16:00 ~ 16:30)

理事長より新入会員 2名の紹介があり、次いで次回総会及び次回
 総会についての理事会での協議の結果についての報告があった。

IV 懇親会 (16:30 ~ 18:30)

会員多数の出席の下、懇親会が盛大に行われた。

V 総会出席者

相沢吉晴	青木清	塚場準一
岩崎 柏	岩崎一生	石黒一憲
江泉芽信	海峽沢美広	政 龍 雲
大柳正夫	岡村 亮	岡本善八
奥田 中弘	及崎正利	大西公昭
大須賀 彦	加来昭隆	笠原 俊宏

川又 良也
 川上 太郎
 佐藤 幸夫
 杉江 徹
 田中 徹
 溜池 良夫
 土井 輝生
 永田 誠
 林 勝一
 丸岡 松雄
 矢崎 武勝
 山田 鏡一
 渡辺 惺之

桑田 三郎
 木棚 照一
 佐野 寛
 鈴木 敏英
 田辺 信彦
 道垣内 正人
 鳥居 淳子
 西 賢
 本浪 章市
 三木 正次
 矢吹 徹雄
 山本 敬三

越川 純吉
 佐藤 哲夫
 澤木 敬郎
 関口 晃
 田村 精一
 徳田 卓樹
 多喜 寛
 滝上 則雄
 松岡 博
 三浦 正人
 山内 世介
 横山 潤

以上 55名

1981年春

第64回総会

1981年5月18日(月)

10:00~18:30

於 青山学院大学四号館会議室

I 研究報告会(10:00~12:30)(14:30~16:00)

(1) 第一四回ハ-5国際私法会議の成果について

上智大学	池原李雄氏
法務省	濱崎恭生氏
同	南 敏文氏

(2) 西ドイツ国際不正競争法の一考察

東北大学	相澤吉晴氏
------	-------

II 理事会(12:30~14:30)

出席者: 湯池理事長, 池原, 桑田, 三浦, 山田, 早田, 本浪, 丸岡, 澤木, 西, 川又, 政各理事, 岡本監事, 川上名誉理事

1. 新入会員の件

理事長より次の10名の入会の申込が規約6条により理事会に諮られ、全量の入会を承認した

青山 善充氏	東京大学教授(民事訴訟法専攻)
三月 章氏	同 (同)
小原 喜雄氏	神戸大学教授(国際取引法)
広江 健司氏	東京大学法学部附属外国法文献センター助手(国際私法専攻)
小山 昇氏	関西学院大学大学院博士課程(国際私法専攻)
根本 洋一氏	東京大学大学院修士課程(国際私法専攻)
佐藤 やよみ氏	同 (同)
国友 明彦氏	京新大学大学院修士課程(同)
河野 俊行氏	同 (同)

出口耕自氏

京新大学大学院修士課程(国際私法専攻)

2 次回総会の件

次回総会は、国際法学会大会が、10月17~18日に広島大学で開催されるのを翌日の19日(月)に同大学で開催したく、同大学の山本敬三教授に都合を聞いたところ、開催を引受42にお意向である旨、理事長より報告があり、10月19日に広島大学で次回総会を開くことに決定した。

報告者については、まず、道垣内氏に依頼することと承し、ついで本棚氏にも依頼することと承した。山田理事長より佐野氏を明春の総会の候補としてあるは可能かの発言あり、また、堂知正博氏(名大助手・刑法専攻)に国際刑法のテーマ(外国刑事判決の承認)の報告を依頼することと考慮しは如何かの発言があった。

右の3名の報告者により、3つの報告をいもることにして検討した。遠方へ帰る会員のためにも、余り終了を急がしたくない問題である意見があり、次回は2名の方向を考へることと承した。

3 決算案の件

1980年度決算案を検討。総会費の増加は、印刷費と郵送料の値上りによること及び会費等は故欠保名譽理事の贈答料であることの説明を理事長より述べ、岡本監事の監査を経て、理事会として決算案を承認した。

4 寄附金受入の件

前回総会から東城大学で行われた際、同大学から支給された補助金の剰余分、6,000円で国際私法学会に寄附したい旨の申出が島居会よりあったこと、理事長より紹介され、その受入を承認。特別会計基金に入ることと決定した。

5 役員改選の件

理事長より、理事、監事の任期が満了するので、慣例により理事会で候補者を決め、規約10条により総会に諮りたい旨の提案があり、承認。ついで、理事長より、役員候補者として、現在の理事、監事全員(湯池, 池原, 桑田, 三浦, 山田, 早田, 本浪, 西, 丸岡, 政, 沢木, 塚場, 川又各理事, 岡本監事)のほか、新たに山本敬三(昭和4年生, 同29年卒業)を追加して総会に諮りたい旨、提案があり、承認した。

6 報告事項

- (1) 5月9日、国際私法学会の主催で上智大学において西独、レーヴンスブルック大学長、ヘリッヒ博士のトイの国際私法改正についての講演会が行われた旨報告がなされた。
- (2) 60回総会の理事会での決定により、未納会費の徴収の手続を行なったこと、11名の会費を、送金があった旨報告された。

III 総会 (16:00 ~ 16:20)

1 役員改選の件

理事長より、理事・監事の任期が満了したのと規約10条により、総会にその改選を諮りたい旨の発言があり、特に、特に他の方法による提案がなければ、慣例により、理事会で予め決めた候補者について賛否を求めた方法によりたい旨発言があり、理事会案を提案、異議なく承認された。

2 報告事項

次回総会についての理事会で決定した事項についての報告について1980年度決算報告がなされた。

IV 新理事会

新理事会において、理事の互選により湯池理事が理事長に選出された。

V 懇親会 (16:30 ~ 18:30)

青年会館において、会員多数の出席のもとに盛大に開催された。

VI 総会出席者

相沢吉晴
石里一憲
海老沢美広
大塚昭彦
笠原俊宏

青木 清
岩崎 祐
政 龍 雲
岡本善八
加来昭隆

池原孝雄
江泉牙信
大柳正夫
尾崎正利
川上 太郎

川又良也
桑田三郎
小山 昇
佐野 寛
杉山嘉尚
多喜 寛
出口耕自
鳥居淳子
根本洋一
福田 彊
松岡 博
三ツ木正次
山田鏡一
渡辺程之
三井哲夫

本棚照一
河野俊行
佐藤やよい
澤本敬郎
鈴木敏英
田村精一
道垣内正人
永田 誠
林島トシ子
本浪章市
丸岡松雄
矢ヶ崎武勝
山本敬三
小原喜雄

国友明彦
越川純吉
佐藤幸夫
杉江 徹
砂川恵伸
溜池良夫
徳岡卓樹
西 賢
早田芳郎
牧野通寛
三浦正人
山本恒介
横山 潤
広江健司

以上 58名

1981年10月19日(月)

10:00~18:30

於 広島大学法学部

I 研究報告会(10:00~12:00)(13:30~15:30)

(1) 国際的訴訟競合

東京大学 道垣内正人氏

(2) 相続準拠法に関する一考察 — オーストラリア、西ドイツ、スイスにおける最近の傾向について —

立命館大学 木棚照一氏

II 理事会(12:00~13:30)

出席者: 沼池理事長, 池原, 桑田, 三浦, 山田, 早田, 本浪, 丸岡, 西, 山本, 澤木, 政各理事, 岡本監事

1 新入会員の件

理事長より次の3名の入会が規約6条により理事会に諮り、全員入会を認められた。

愛知正博氏
野村美明氏
土屋政憲氏

名古屋大学助手(刑法専攻)
大阪大学助手(国際取引法専攻)
広島大学大学院(国際私法専攻)

2 次回総会の件

理事長より次回総会は、国際法学会大会が5月16日に福岡大学において開催される予定に反り、国際私法学会も翌17日(月)に福岡で開催するのから、会費に引き合わせ、福岡大学の加東会費に新会費を合わせた上で、引受けをしようとする旨を報告し、5月19日に福岡大学で開催することに決定した。

報告者としては、前回総会の理事会で議題に上った愛知氏に「国

際刑法に於ける「一事不再理」のテーマの報告を依頼し、他の一名については、江泉氏も候補として、桑田理事長の交渉に当り、同氏が不可能な場合は、岡理事にお願いを考慮することとした。

3 法人の入会申請の取扱の件

日本興業銀行の入会申請があり、協議したところ、規約に法人の入会の規定はないが、入会も不可とす。実質的理由も乏しく、次回総会までに、法人の入会も検討することとし、石之下、岡銀行より本席者(今回は2名)に傍聴を認め、会費の1人500円を徴収することに決定した。

4 学術会議57年料研究審査委員候補推薦の件

理事長より標記の件につき推薦の依頼があった。締切が10月9日であり、理事会に諮ることを見合わせた。前理事長と相談の上、西会費も推薦した。このこと事後承認された。

III 総会(15:30~16:00)

新入会員の紹介があり、この次回総会、日本興業銀行の入会申請の件、料研究審査委員候補者の推薦について報告があった。

IV 懇親会(16:00~18:30)

広島スラッシュホテルにおいて、会員多数出席を以て盛大に開かれた。

V 総会出席者

青木清
政龍雲
岡本善八
桑田三郎
澤木敬郎
砂川恵伸
沼池良夫
西賢
松岡博
山田鏡一
渡辺惺之

池原孝雄
尾崎正利
加来昭隆
越川純吉
杉山嘉尚
田辺信彦
土井輝生
早田芽郎
丸岡松雄
山内惟介

江泉芽信
大西公照
木棚照一
佐野寛
鈴木敏英
田村精一
道垣内正人
本浪章市
三浦正人
植山潤

以上31名

1982年5月17日(月)

10:00~18:30

於 福岡大学図書館研究棟

I 研究報告会(10:00~12:00)(13:30~15:30)

(1) 外国刑事判決の承認に関する一考察 — 一事不兩理の問題を中心にして —
名古屋大学 愛知正博氏

(2) 外国会社の承認に関する一考察 — 最近の西ドイツ学説への論及 —
中央大学 山内惟介氏

II 理事会(12:00~13:30)

出席者: 溜池理事長, 池原, 三浦, 山田, 早田, 本浪, 西, 丸岡, 澤木, 川又, 坂場, 政, 山本, 各理事, 田中監事

1 新入会員の件
理事長より次の2名の入会を規約6条により諮りこれを承認した
杉林信義氏 日本大学教授(国際私法・無体財産法)
伊東すみ子氏 弁護士(民法法-涉外関係)

2 次回総会に関する件
次回総会は、国際法学会大会が10月16~17日に中央大学で開催される関係で、慣例によりその翌日の10月18日(月)に開催することとし、上智大学に依頼することをお諮り承認。
報告者については、前回で候補に挙げられた佐野氏に製作物品責任の承認法についての報告を依頼しは如何かと理事長より諮り、同氏も報告者一人とすることに決定。次に前回同様の候補者といた江泉氏については、同氏が勤務校における事情で研究外の用務の多忙であり不可能であるとの同氏の代りに桑田氏が報告をしてもよいとの意向であったが同氏に依頼しは如何との意見があった。その他の候補者としては、坂場氏、本棚氏が挙げられたが、坂場氏は勤務校の仕事を都合上、

本棚氏は健康上の理由で今回総会での報告者になるのは難しいとのことであった。この際、青山善克氏、鳥居氏、松田氏が候補に挙げられ、結局、理事長より研究連絡委員(三浦, 西, 沢木, 松田の各氏)が、桑田, 青山, 鳥居, 松田各氏と交渉し、(一)名を選ぶことにすることを協議された。

3 日本興業銀行の入会申請の件
規約に法人会員に関する規定がないため、前回理事会で引き続き検討することになっていた日本興業銀行の入会申請の取扱いについて理事長より諮られた。(前回総会には2名停職、1名につき500円を徴収、今回は3名が停職)。特に法人を除外する理由もなかり、入会を認めことに決定。会費については、年5,000円とする(毎回2~3名が出席予定)、会費の用途は規約7条により総会で決めることになっているとの、次回総会に諮ることになった。

4 停職者の参加費の件
今回日本興業銀行からの出席者に、入会を承認する前に停職を許可し参加費も1名500円を徴収したため、今後は理事長に停職を許可した停職者の場合には、会費に準じた金額を徴収することを理事会で正式に決定し、このことも次回総会に諮ることになった。

5 1981年度決算報告の件
1981年決算につき、別紙に基づき理事長より説明があり、これを承認した。

6 報告事項
(1) 学術会議より Japan Annual of Law and Politics の執筆の依頼があったが、松岡氏にこれを依頼し報告があった。
(2) 学術会議の研究連絡委員として、従来、山田氏(代理、早田氏)にお願いして来たが、早田氏に依頼し報告された。
左記、国際会議への派遣問題(会費、研究連絡委員に限り)については、(一)もあり、(二)もあり、5月17日付毎日新聞の記事について理事長よりコメントがあった。

(3) 国際法外交雑誌の文献目録にこの要旨を採録するが、国際法学会副運営委員会に議論され、今秋の雑誌編集委員会に検討されることになった旨、山田、早田両理事の報告があった。

Ⅲ 総会 (15:30 ~ 16:00)

新入会員の紹介、決算報告の承認があり、ついで次回総会、日本興業銀行の入会申込み取扱、傍聴者の参加費についての理事会の審議の結果について報告があった。

Ⅳ 懇親会 (16:30 ~ 18:30)

福岡大学構内において、会員多数の出席の下、盛大に開かれた。

Ⅴ 総会出席者

愛知正博	青木 清	青山善充
柴場 謙一	池原孝雄	政 龍雲
小原 茂雄	岡村 克	岡本善八
尾崎 正利	加来昭隆	川又良也
河野 俊行	岡友明彦	越川紀吉
佐野 寛	澤木 敬郎	鈴木敏英
砂川 惠伸	田村 精一	沼池良夫
土屋政憲	出口 耕自	道垣内正人
西 寛	野村美明	早田 芳郎
衣江健司	本浪 章市	松岡 博
丸岡 松雄	三浦 正人	三月 章
矢崎 武勝	山内 佳介	山田 録一
山本 敬三	横山 潤	田中 徹
大西 公照	江泉 芽信	渡辺 惺之
三ツ木 正次		

以上 43名

1982年秋

第67回総会

1982年10月18日(月)
10:00 ~ 18:30
於 上智大学内上智会館

I 研究報告会 (10:00 ~ 12:00) (14:00 ~ 16:00)

- (1) 生産物責任の準拠法に関する一考察
報告 名古屋大学 佐野 寛氏
座長 大阪大学 松岡 博氏
- (2) イギリスにおける裁判外離婚の承認について
報告 成城大学 島居淳子氏
座長

II 理事会 (12:00 ~ 14:00)

出席者: 沼池理事長、柴場、池原、政、川又、澤木、西、早田、本浪、丸岡、三浦、山田、山本各理事、岡本監事

- 1 新入会員の件
理事長より、次の2名の入会申込みの規約6条に基づき、理事会に諮り、承認した。
寺田 逸郎氏 法務省民事局兼外務省条約局・検事
河原田 有一氏 慶應義塾大学院博士課程

- 2 次回総会に関する件
次回総会は、国際法学会春季大会の5月15日(月)に明治学院大学(南校)で予定であったが、従例により、東京地方において、その翌日の5月16日(月)に南校にて、南校校会と東洋大学の候補を挙げて、早田理事長より大学当局に相談の上返事してもらったが、万一の場合に備えて、南校校会と専修大学、一橋大学に候補を挙げられた。

報告者については、種々の候補の名が挙げられたが、ドイツ留学の帰国の北海道大学の袴田氏と香川大学の奥田氏が適当といふことにあり、研究連絡委員のテニサーとその他を交渉してもよいことにした。

3 日本興業銀行の会費に関する件
 前回理事会において日本興業銀行の入会に伴う会費については、年額5,000円とし、規約7条により、今回の総会に諮ることにしたが、総会に承認された場合には、来年度(1983年度)より徴収することに決定した。

4 傍聴者の参加費に関する件
 前回理事会において、傍聴者については、会費に準じた額の参加費を徴収することにし、今回の総会に諮ることにしたが、総会に承認された場合には、明年度(1983年度)よりこれを廃止することに決定した。

理事懇談会

池原理事より、現在法制審議会国際法部会に於ける審議中の国際法改正問題の結論を得るに足る見込みは、先年秋以降、同審議会国際法部会において法例改正問題を審議する必要があることと考へ、問題の性質上、審議会のメンバー以外の人々の意見をも聴いてほしいと考へ、その旨を発言があり、その方法等について理事が懇談した。意見を主として対象、その方法は研究会方式とする、費用はしらす(科研費の申請)、学会の肉縁等種々の問題があること、理事長を中心に今後、若干の理事で委員会をつくり検討することにした。

III 総会(16:00~16:20)

日本興業銀行の入会に伴う会費の件について理事会案を示すに異議なく決定した。また傍聴者の参加費については理事会案通り決定した。

ついで、新入会員2名の紹介があり、次回総会について理事会の決定を報告した。

IV 懇親会(16:30~18:30)

上智会館食堂において多数の会員の出席のもとに盛大に開催された。

V 総会出席者

- | | | |
|--------|--------|-------|
| 愛知 正博 | 相沢 吉晴 | 青木 清 |
| 坂場 準一 | 池原 李雄 | 石黒 一寛 |
| 伊東 すみ子 | 岩崎 一生 | 江泉 芳信 |
| 政 龍雲 | 大郷 正夫 | 園村 克 |
| 岡本 善八 | 奥田 安弘 | 尾崎 正利 |
| 小原 喜雄 | 加来 昭隆 | 望原 俊宏 |
| 木棚 照一 | 国友 明彦 | 河野 俊行 |
| 越川 純吉 | 小山 昇 | 梅田 嘉章 |
| 佐藤 哲夫 | 佐野 寛 | 澤木 敬郎 |
| 清水 幸雄 | 杉江 徹 | 高桑 昭 |
| 田辺 信彦 | 田中 徹 | 田村 精一 |
| 湯池 良夫 | 土屋 政憲 | 土井 輝生 |
| 道垣内 正人 | 徳岡 卓樹 | 鳥居 淳子 |
| 出口 耕自 | 西 順 | 二宮 正人 |
| 野村 美明 | 林脇 トシ子 | 早田 芳郎 |
| 廣江 健司 | 本淳 章市 | 牧野 通晃 |
| 松岡 博 | 丸岡 松雄 | 三浦 正人 |
| 三月 章 | 矢ヶ崎 武勝 | 矢澤 昌治 |
| 山内 世介 | 山田 録一 | 山本 敬三 |
| 横山 潤 | 渡辺 惺之 | 三木 正次 |
| 海老沢 美広 | 川又 良也 | 五十嵐 清 |
| 河原田 有一 | | |

以上 64名

傍聴者： 中村 達 (日本大学法学部大学院生)

1983年春

第68回総会

1983年5月16日(月)

10:00 ~ 18:30

於 私学会館 (開催校: 東洋大学)

I 研究報告会 (10:00 ~ 11:45) (13:45 ~ 15:30)

(1) 国際海上物品運送法の統一と国際私法の関係

— 国際私法は排除されるか —

報告 香川大学
座長

奥田 安弘氏

(2) サヴィニーの国際私法理論再説

報告 北海道大学
座長 岡山大学

櫻田 嘉章氏
丸岡 松雄氏

II 理事会 (11:45 ~ 13:15)

出席者: 溜池理事長、畑場、池原、欧、川又、澤木、西早田、本浪、丸岡、三浦、山田、山本各理事、岡本監事

1. 新入会員の申込について

理事長から次の三氏の入会申込があったので、規約6条により理事会に諮られ、理事会において、いずれもこれを承諾した。

(1) 貝瀬 幸雄氏 (東京大学大学院 MC) 国際私法

紹介者 石黒一憲 会員

(2) 中野 俊一郎氏 (神戸大学大学院 DC) 国際私法

紹介者 西賢 会員

(3) 眞砂 康司氏 (関西大学大学院 DC) 国際私法

紹介者 本浪章市 会員

2. 1982年度決算案について

別紙の1982年度決算案について理事長より説明があった。次年度への繰越金が増えたのは、督促をしたこともあって会費の納入

が増えたためであり、当分は会費増額を要する必要がない。岡本監事の監査を受け適正である旨の報告があり、理事会として決算案を承認した。なお、本学会では予算案は作成しないことになっている。

3. 次回総会開催日及び開催校について

国際法学会が10月15日と同日16日の2日間立命館大学で行われる予定であるので、慣例により翌日の10月17日に行うことに決定した。開催校としては、第一候補に関西大学、第二候補に名古屋大学を定めた。

4. 報告者について

候補者として、野村、尾崎、青木、矢吹、根本、岩崎、江泉、小山、河野、国友、出口の各氏が挙げられ、研究連絡委員である畑場、欧西理事にその選抜が委ねられた。また今回は、候補者の数も多いため、従来からの懸案通り報告者を3名とすることに決定した。

5. フィルシング教授の訪日について

Prof. Firsching 訪日について理事長から説明があり、東京と関西地区で講演会を行ってもよいことを了承。東京では来る6月17日東京大学において国際私法学会の主催という形式で行うことを決定した(演題「最近のヨーロッパにおける新動向について」)。また、そのための費用として、講演者に3万円、通訳に2万円を、江川先生の御遺族より頂き松本記念財団の管理に委ねられている寄附金の利息から謝礼として支払い、通知費は本学会の会計より支払うことを了承。関西地区の講演は、日独文化センターの費用により、同センターと関西国際私法研究会及び比較法センターの共催で行われることを了承した。

6. 70回総会について

70回総会を記念して何か特別の企画をするかについて話し合い、一案として2日会期とすることが提案され、賛成意見が多かったが、なおアイデアを会員から募集しては如何ということになり、総会でその旨理事長から提言してもよいことに決定した。

7. 役員改選について

規約11条により役員全員の2年の任期が到来するので、改選を

行うこととし、規約10条により総会で選任されることになるが、理事長から、従前の例に倣い、理事会で候補者を選び、それを総会に推薦するという形をとりたい旨の提案があり、これを了承した。ついで、理事長から現在の理事・監事全員(株場、池原、欧、川又、桑田、沢木、溜池、西、早田、本浪、丸岡、三浦、山田、山本の計14名の理事候補、岡本監事候補)の再任案を提案され、これも了承した。

また、理事長の改選については、規約10条2項によって理事会で互選することになっているが、時間の都合上、予め総会において上記の役員全員の再任案が容れられることを条件に、この場で理事長を右条件つきで互選しておきたい旨の提案があり、これを了承した。引きつがき理事長から、過去5年にわたって理事長職を勤めることができたことに対して各理事への感謝の言葉が述べられた後、とくに投票によらずに山田理事を理事長として上記の如く条件附で互選、山田理事から理事長就任の承諾があった。

なお、山田理事から、同氏が必要と認めるときは、理事会に事務補助者として佐野氏(名大助手)を出席させたい旨の発言があり、これを了承した。

III 総会 (13.15 ~ 13.45)

1. 役員改選の件

理事長より、理事・監事の任期が満了したので、規約10条により総会にその改選を諮りたい旨の発言があり、とくに他の方法による提案がなければ、従前の例に倣い、理事会で予め決めた候補者について賛否を決める方法によりたい旨の提案がなされ、理事会案が異議なく承認された。

2. 報告事項

理事長より新入会員の紹介がなされた後、1982年度決算報告が承認され、次回大会、フィルシグ教授の訪日、70回大会について報告がなされた。

IV 特別講演 (15.30 ~ 17.00)

ハーバード大学 von Mehren 教授を招き、下記のとおり、特別講演が行なわれた。

題目 The Importance of Comparative Law for the Theory and Practice of Private International Law

通訳 大阪大学 松岡博氏

V 懇親会 (17.00 ~ 18.30)

私学会館食堂において、多数の会員の参加を得て盛大に開催された。

VI 総会出席者

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 愛知正博 | 青木清 | 青山善充 |
| 株場原季一 | 五十嵐清 | 伊東まみ子 |
| 池原崎一生 | 石黒龍雲 | 岩崎栢 |
| 大須賀度 | 欧西公照 | 小原喜雄 |
| 奥田安弘 | 尾崎正利 | 岡本善八 |
| 川又良也 | 木棚照一 | 加来昭隆 |
| 河野俊行 | 小山昇 | 国友明彦 |
| 桜田嘉章 | 佐藤哲夫 | 越川純吉 |
| 澤木敬郎 | 杉江徹 | 佐野寛 |
| 奥口晃 | 平良 | 砂川恵伸 |
| 田中徹 | 谷川久 | 高桑昭 |
| 溜池良夫 | 出口耕自 | 田村精一 |
| 徳岡卓樹 | 鳥居淳子 | 直垣内正人 |
| 根本洋一 | 野村美明 | 西賢 |
| 早田芳郎 | 平塚真 | 林脇トミ子 |
| 本浪章市 | 松岡博 | 廣江健司 |
| 三浦正人 | 三ッ木正次 | 丸岡松雄 |
| | | 矢ヶ崎武勝 |

矢吹徹雄
山戸嘉一
渡辺暉文
貝瀬幸雄

山下昇
山本敬三
眞砂康司

山田録一
横山 油
河原田有-

以上 64名

1983年 秋

第69回総会

1983年10月17日(月)
10:00 ~ 18:30
於関西大学 関大会館

I 研究報告会 (10:00 ~ 11:30, 13:00 ~ 14:30, 14:45 ~ 16:15)

(1) シュ-リツの国際私法理論について

-法律学的ハルメノイテツ導入の試み-

報告 京都大学 河野俊行氏
座長 大阪市立大学 三浦正人氏

(2) ドイツ国際私法理論における並行理論

報告 東京大学 根本洋一氏
座長 北海学園大学 欧龍雲氏

(3) 婚姻の有効性に関する法選択論について

-近時の英米学説を中心に-

報告 名古屋大学 青木清氏
座長 大阪大学 松岡博氏

II 理事会 (11:30 ~ 13:00)

出席者 山田理事長、畑場、池原、欧、沢木、溜池、本浪、丸岡、三浦、山本各理事
岡本監事

1. 事務補助者について

事務補助者として佐野寛氏(名古屋大学助手)を理事会に出席させることが承認された。

2. 傍聴者について

理事長より、富田哲氏(名古屋大学大学院DC、家族法)の傍聴を許可し、67回総会決定に従い、会費に準じる額の参加費を徴収することが諮られ、これを承認した。

3. 次回 70 回 総会 について

次回 70 回 総会 を 記念大会 として 行うか について 話し合い、
すでに 本学会 が 記念大会 を 行うこと を 前提 として 国際法学会 が
土曜日 に 一日大会 を 行うこと に 決定 している という 経緯 も あり、記
念大会 として 二日大会 を 行うこと に 決定 した。

開催日 は、国際法学会 が 5 月 12 日 に 大阪外語大学 で 行われる 予定
である ので、慣例 により 翌日 の 5 月 13 日 と 14 日 に 決定 した。開催校 として
は、記念大会 のため 事務量 も 増える ので、事実上 の 事務所 の 所在する 名
古屋大学 で 行、ては という 提案 が 理事長 から なされ、これを 承認 した。
なお、日程 としては、1 日目 と 2 日目 の 午前中 に 研究報告会 を 行い、2 日
目 の 午後 には バス見学 を 行うこと が 提案 され、了承 された。バス見学 の
候補地 としては、明治村、トヨタ自動車 が 挙げられた が、決定 は 会員 の
意見を 聴取 して 事務局 で 行うこと が 承認 された。

報告者 としては、すでに 前回 候補 に 挙げられて いた 愛媛大学 岩
崎一生 氏 に 報告 を 依頼 すること に 決定 し、他に、尾崎、鈴木、
野村、矢吹、江泉、小山、国友、出口 各氏 の 名 が 挙げられた が、1 日目 の
報告者 人数 を 2 名 とする か 3 名 とする か、シンポジウム を 行うか、と
いった 問題 を 含めて、研究連絡委員 と の 相談 の 上で 決定 すること
になった。その際、司会者 も 事前に 決定 しておくこと が 承認 された。
また、ハーグ条約 に関する 報告 については、ハーグ会議 の 日程 と の 関
係 も あり、来年秋 の 大会 で 行うこと が 望ましい と の 発言 が あった。

なお、従来、本学会 では 春、秋 の 大会 の 呼称 を 「総会」として
きた が、70 回 より 「大会」として は どうか と の 提案 が なされ、これを
了承 した。

4. 会員名簿 について

理事長 から、70 回 大会 を 記念 して 会員名簿 を 作成 すること とし、
印刷費 等を 学会費 より 支出 したい旨 の 提案 が なされ、承認 された。
名簿 の 体裁 については、印刷費 と の 関係 も あり、事務局 に 一任 され
た。

5. 会費長期滞納者 について

理事長 から、名簿 作成 に あたり、会費長期滞納者 で 総会 への
欠席 も 長期 にわたる ものは、事実上 の 退会者 として 削除 しては と の
提案 が なされ、該当者 として 石橋 敏郎、志木 義文、内藤 研二、

中村 武、畑 肇 各氏 の 名 が 挙げられた。本学会 では、59 回 の 理事会
で 滞納者 であり、ても 除名 しない と の 決定 が なされている が、会員数 が 増
加 した こと とも あり、今後 については 規約 に 退会 の 規定 を 設ける よう 検
討 すること とし、今回は 理事長 が 上記 の 滞納者 について 事実上 の 退会
とする 旨 総会 で 承認 を 求めては と の 意見 が 出され、その 旨 理事会 で
決定 した。

6. 科研費・補助費配分審査委員 について

理事長 より、学術会議 の 科研費・補助費配分審査委員 の
推薦 について 回答 期日 が 今回 総会 前 であつたため、池原、溜池
前理事長 と の 相談 の 上で 沢木 敬郎 会員 を 推薦 した こと につき 事後 承
認 が 求められ、これを 承認 した。今後、理事会 の 開催 前に 回答 しな
ければ ならない 場合には、審査委員 の 推薦 は 理事長 に 一任 し、理事
会 への 報告 事項 と すること に 決定 した。

7. 学術会議 について

学術会議 向題 への 対応 については、国際法学会 の 対応 を 参
照 して 行うこと とし、理事長 より 逐次 各理事 へ 報告 すること と
された。

8. 法例改正に関する意見聴取 について

かねて 理事懇談会 で 懸案 と なっていた 法例改正 向題 に関
する 意見聴取 について、理事長 より、理事長 と 池原、溜池 両
理事 に 検討 を 一任 し、70 回 大会 の 理事会 で 正式 に 諮る こと に
したい旨 の 提案 が なされ、これを 了承 した。

9. 現行規約の改正 について

池原 理事 より、本学会 の 現在 の 状況 から みて、現行規約 には
不備な点 (例えば、退会 の 規定 が ない) や 現状 に 適合 しない点 (例
えば、会費 を 総会 の 議決事項 として いる。役員 の 任期 が 短い) が
ある ので 改正 の 必要 が ある と の 発言 が あり、理事長 と 池原、溜
池 両理事 に 改正案 の 作成 を 委任 し、70 回 大会 の 理事会 に 諮る こと
に 決定 した。

なお、規約改正 は 総会 の 議決事項 である ため、これを 総会 に
諮る ためには、会員 に 予め その 旨 の 通知 を 行う こと が 必要 である

との発言があり、これを了承した。

10. 70回大会以後の開催校について

理事長より、国際法学会では1985年度まで学会の開催校が予定されていることが紹介され、本学会でも、できれば70回大会以後の開催校を予定しておきたい旨提案があり、来年秋季大会については、関東地区の一橋大学で開催することを予定した。

11. 事務所の移転について

理事長より、61回総会決定にもとづき、事実上の事務所を名古屋大学法学部研究室に移転したことが報告された。

III 総会 (16.15 ~ 16.45)

長期会費滞納者の退会について承認がなされ、ついで次回大会、次回以後の開催校、事務所移転の件について報告が行われた。

IV 懇親会 (17.00 ~ 18.30)

関大会館地階ホールにおいて、多数の会員の参加の下に盛大に開かれた。

V 総会出席者

愛知 正博
池原 季雄
江泉 芳信
奥田 安弘
加来 昭隆
国友 明彦
小山 昇
杉林 信義

青木 清
石黒 一憲
政 龍雲
尾崎 正利
川上 太郎
河野 俊行
佐野 寛
鈴木 敏英

煉場 淳一
伊東 すみ子
岡本 善八
小原 喜雄
木村 照一
越川 純吉
澤木 敬郎
砂川 恵伸

田村 精一
道垣内 正人
中野 俊一郎
廣江 健司
松岡 博
矢澤 昇治
横山 油

溜池 良夫
徳岡 卓樹
根本 洋一
本浪 章市
丸岡 松雄
山田 録一
渡辺 惺之

出口 耕自
鳥居 淳美
野村 美明
眞砂 康司
三浦 正人
山本 敬三

以上 44名

1984年 春

第70回大会

1984年 5月13日(日) 10:00~19:00

5月14日(月) 9:30~17:00

於 愛知産業貿易館

第1日 5月13日(日)

I. 研究報告会 (10:00~11:30, 13:30~16:30)

(1) 契約と不法行為の抵触規則の競合の向題

— 法律関係性質決定の— 特殊向題として —

報告	京都大学	国友明彦氏
座長	立命館大学	木棚照一氏

(2) シンポジウム

わが国際私法改革への基本的視座—婚姻・親子を中心として—

司会	立教大学	澤木敬郎氏
向題提起	一橋大学	畑場準一氏
	関西学院大学	田村精一氏
	大阪大学	松岡博氏

II 理事会 (11:30~13:30)

出席者 山田 理事長、畑場、池原、欧、川又
 澤木、溜池、西、早田、本浪、丸岡、三浦
 山本各理事、岡本 監事

1. 新入会員について

理事長より次の二氏の入会申込があったので規約6条により理事会に諮る。理事会においていづれもこれを承諾した。

- (1) 大仲 淳介氏 (関西大学 大学院DC) 国際私法
 紹介者 本浪章市 会員
- (2) 斎藤 彰氏 (神戸大学 大学院DC) 民法、国際取引法
 紹介者 西 賢 会員

2. 傍聴者について

理事長より次の二氏の傍聴を許可し、67回総会決定に従い、会費に準じる額の参加費を徴収することが諮られ、これを承認した。

- (1) Paul Alfons Waer氏 (-橋大学 大学院MC)
- (2) 野本 俊輔氏 (弁護士)

なお、会費値上げとの関係で今後傍聴者の参加費を500円と定めたい旨の提案が理事長よりなされ、これを承認した。

3. 決算報告について

1983年度決算案につき、別紙に基づいて理事長より説明がなされた。岡本 監事の監査を受け、適正である旨の報告があり、理事会として決算案を承認した。

4. 次回大会について

国際法学会が10月13日、14日の2日間早稲田大学で行われる予定であるので、慣例に従い翌日の10月15日に一橋大学で行うことに決定した。

報告者としては、慶応大学の林脇トシ子氏と京都大学の出口耕自氏に報告を依頼することとし、他の一名として笠原俊宏氏に依頼してはとの意見が出された。他に、野村、尾崎、鈴木、小山、中野、小原真砂、斎藤各氏の名が挙がったが、最終的には研究連絡委員に交渉を委ねることが了承された。

なお、次回以降の開催校について国際法学会が独協大学(1985年春季)、神戸大学(1985年秋季)を予定していることが理事長より紹介され、本学会についても、来年春季大会については独協大学、秋季大会については関西学院大学または立命館大学に依頼することとした旨の提案がなされ、これを了承した。

5. 会費について

理事長より、通信費・印刷費等諸経費の値上り、他学会の会費とのバランス、新たに開催校への援助金や報告者への資料作成費の補助を行う費用、将来機関誌を発行するための準備などを考慮して、会費を来年度から年間2,000円とした旨の提案

があった。会費の問題は、規約7条により総会の決定事項となっているため、今回の総会に諮ることが承認された。

また、これまでは大会の際に会費を徴収していたが、事務が繁雑でもあり、振込制(郵便振替、銀行)にしたいとの提案が理事長からなされ、これを承認した。郵便振替の口座開設など具体的問題は事務局に一任された。

6. 開催校への援助金について

理事長より、学会の開催にあたっては開催校に相当の経済的負担がかかるので、学会としても1万円ないし2万円の援助金を支出してはどうかとの提案があった。国際法学会、私法学会など他の学会も援助金を支出していることが紹介され、次回大会より開催校へ援助金を出すことに決定した。金額については、各開催校の特別事情(ex. 学外での開催など)を個別に考慮する余地をもうけてはどうかとの意見が出されたが、一応当面は2万円を支出することに決定した。

7. 報告者への資料作成費の補助について

従来、本学会では報告者に対して謝金や資料印刷代を支払っていないが、今後一人3,000円程度資料作成費として補助してはどうかとの提案が理事長よりあった。国際法学会では報告資料の提出を義務づけた上で、一定額を報告者に支払っているが、本学会でもできる限り報告者にレジュメ等資料を配付してはどうかと望ましいとの意見が出され、次回大会より一人3,000円を補助することに決定した。

8. 規約の改正について

規約改正については7月末頃をめぐりに各理事の意見を聴取し、それを検討した上で次回大会に提案したいとの発言が理事長よりあり、これを了承した。

9. 法例改正の検討について

懸案となっている法例改正に関する意見聴取について、理事長より、既存の涉外判例研究会および関西国際私法研究会の場を代表者の承認を得て借りることとし、逐次法例改正の検討を行い、また国際私法学会や国際法学会の場もシンポジウムを企画するなどして利用するという方法を採ることとしたい旨の提案があり、これを承認した。

また、法例改正の検討にかかる費用については科研費等を申請することが考えられるが、申請をするか否かも含めて申請の内容、申請額、メンバーなどについて理事長と研究連絡委員に検討を一任し、実現可能であれば、次回大会に提案することが了承された。

10. Prof. Castel の来日について

Prof. Castel の来日(来春5月)について理事長および西理事から説明があり、国際私法学会の主催で講演してもらうことを了承した。具体的には次回大会で提案することとし、謝金などについては先例に従うことが承認された。

11. 学術会議について

理事長より、学術会議法改正に伴い本学会が学術会議の登録要件を満たすか否かは微妙であるとの説明があった。しかし、学術会議の新会員の選出手続日程上、今回の理事会で登録をするか否かを決定しておくことが必要なので、登録要件を満たす場合には登録の方向で手続を進めたい旨の提案が理事長よりあり、これを承認した。また、登録が認められた場合、候補者、推薦人の選出方法については理事長に一任することとし、理事長が池原・溜池前理事長、澤木理事(国際法学会庶務主任)と相談して決定することが了承された。

12. 報告事項

学術会議より、学術研究団体調査表および登録学術研究団体の登録基準案についてのアンケートについて回答の依頼があり、アンケートについては各理事の意見を聴取した上で回答した旨報告された。

Ⅲ 総会 (16:30 ~ 17:00)

新入会員および停聴者の紹介、決算報告の承認がなされ、次回大会について報告が行われた。ついで、会費値上げの件について理事会案が提案され異議なく決定された。また、開催校への援助金、報告者への資料作成費の補助および法例改正の検討に関して理事会の審議の結果が報告された。

さらに 学術会議に関して、理事会案が承認され、候補者、推薦人の推薦については理事長に一任することが承認された。

IV 懇親会 (17.30 ~ 19.00)

愛知県産業貿易館西館モングランにおいて、多数の会員の参加を得て盛大に行われた。70回大会を記念して山田理事長より挨拶があり、村岡二郎判事、平出慶道名古屋大学法学部長の挨拶の後、歓談に移った。

第二日 5月14日(月)

I 研究報告会 (9.30 ~ 11.00)

1958年外国仲裁判断の承認および執行に関する条約(ニューヨーク条約)に関連する若干の問題

報告 愛媛大学 岩崎一生氏
座長 広島大学 山本敬三氏

II 研修旅行 (12.00 ~ 17.00)

晴天の下、多数の会員が参加して、犬山市明治村を見学した。

III 大会出席者

愛知 正博
池原 季雄
岩崎 一生
大須 賀彦
奥田 安弘
笠原 俊宏
加来 昭隆
熊田 登子

青木 清
石黒 一憲
海老沢 美広
大沖 淳介
尾崎 正利
川又 良也
木村 照一
河野 俊行

煉場 淳一
伊東 幸子
欧龍 雲
岡本 善八
小原 喜雄
河原田 有一
国友 明彦
越川 純吉

小山 昇
佐野 寛
鈴木 敏英
沼池 良夫
道垣 内正人
中野 俊一郎
野村 美明
廣江 健司
松岡 博
村岡 二郎
山本 敬三

斎藤 彰
澤木 敬郎
砂川 恵伸
出口 耕自
徳岡 卓樹
西 賢
林 脇ト三子
本浪 章市
丸岡 松雄
矢ヶ崎 武勝
横山 浦

桜田 嘉章
杉林 信一
田村 精生
土井 輝子
島居 淳子
根本 洋一
早田 芳郎
眞砂 康司
三浦 正人
山田 鏖一
渡辺 煜之

以上 57名

傍聴者: P.A. ワール

1984年秋

第71回大会

1984年10月15日(月)

10:00 ~ 18:30

於一橋大学 職員集会所

I 研究報告会 (10:00~11:30, 13:00~14:30, 14:40~16:10)

(1) 国際契約における消費者保護

報告 京都大学 出口耕自氏
座長 神戸大学 西賢氏

(2) 国際私法における先決問題の理論

— その現状と展望 —

報告 笠原俊宏氏
座長 大阪市立大学 三浦正人氏

(3) 涉外事件における外国法の適用違背と上告理由

報告 慶応義塾大学 林脇ト子氏
座長 東洋大学 早田芳郎氏

II 理事会 (11:30 ~ 13:00)

出席者 山田理事長、畑場、欧、澤木、西、早田
本浪、三浦各理事、岡本監事

1. 新入会員について

理事長より次の三氏の入会申込があったので規約6条にもとづいて理事会に諮られ、理事会においていずれもこれを承認した。

- (1) 桜井雅夫氏 (青山学院大学 教授) 国際法、国際取引法
紹介者 須藤次郎 会員
- (2) 山下次郎氏 (東洋大学 大学院 MC) 民事訴訟法
紹介者 早田芳郎 会員
- (3) 桑原康行氏 (小樽商科大学 講師) 国際取引法
紹介者 畑場 準一 会員

なお理事長より山本豊氏 (上智大学 助教授、民法) の傍聴を許可した旨報告があった。

2. 次回大会について

国際法学会が来春5月12日(日)に独協大学で行われる予定であるので、慣例に従い翌日の5月13(月)に独協大学で行うことに決定した。

報告書としては、今秋に開催されたハーグ会議の報告を池原会員または法務省の担当者に依頼してはどうかとの意見が出された。その他に尾崎正利氏 (三重短期大学) 小山昇氏 (関西学院大学) 等の名が挙げられ、報告を依頼することとし、研究連絡委員に交渉を委ねることが了承された。

なお、来秋の大会については、国際法学会が神戸大学を予定しているので、交通の便などを考慮して関西学院大学に依頼することを決意した。

3. Prof. Castel の訪日について

前回理事会で、カナダ、ヨーク大学 Castel 教授の訪日につき国際私法学会主催で講演を依頼することが承認されたが独協大学が地理的に不便であることと学会での報告予定者が多数残っていることなどを考慮して、次回大会とは別に講演会を開催することが理事長より提案された。右理事長からも Castel 教授の来日の日程が未定でもあり、大会とは別に国際私法学会と他の機関との共催で講演会を開催することも可能との意見が出され、一応東京での講演会は次回大会翌日の5月14日(火)に開催することが適当であるとの意見が有力であった。

4. 報告要旨集について

理事長より、前回理事会での決定にもとづいて学術会議に学術研究団体登録申請をなすにあたり、登録に関する規則4条2項の「学術研究論文(概要及び抄録を含む)の発表のための刊行物を年一回以上発行していること」の要件を満たすために、報告要旨集を作成したことにつき事後承認が求められ、これを承認した。

70回大会の報告要旨集については、費用の関係もあり、理事、監事および報告者へのみ配付することが了承された。報告要旨集については、今後も継続して作成することとし、大会前に配付する方が良との意見が多いため、大会前に事務局で作成し配付することが決定された。

なお、前回決定された報告者への補助金については、決定通り支給することが承認された。

5. 規約の改正について

規約改正については、各理事からとくに積極的な意見が出なかったこと、改正のポイントである役員任期に関して、他学会の状況が2年と3年ほぼ半々であることなどを考慮して、改正の時期を延期したい旨の提案が理事長よりなされ、これを承認した。

6. 学術会議について

理事長より、前回理事会の決定にもとづいて学術会議に学術研究団体の登録申請を行ったことが報告され、10月末には登録が認められるか否かが判明するとの説明があった。

会員候補者については、前回理事会で理事長が池原、溜池および沢木各理事と相談して決定することが承認されたが、その後、あびのの理事、監事に候補者および推薦人に関するアンケートを行ったので、その結果を参照して検討し、溜池会員を候補者とした旨の提案が理事長からなされた。また、国際法学会でも溜池会員が候補者として推薦されていることが紹介された。理事長の提案にもとづいて、溜池会員について信任投票を行い、出席全理事によって信任された。推薦人については登録学会数によって割り当てに変動の可能性があるので、1名の場合には山田理事長、2名の場合には、澤木会員をこれに加えることが理事長より提案され、これを承認した。

7. 法例改正の検討について

理事長より、法例改正に関する意見聴取については、科学研究費の総合研究Bを申請することが考えられ、メンバーとしては学会の理事および監事、研究代表者としては、池原、会員、幹事として澤木会員で申請することが研究連絡委員との協議で一応決定されたが、なお研究計画や計画の実現可能性を慎重に検討する必要があると思われるので、今年度中の申請は見送り、来年度決まるとに検討することが提案され、これを承認した。

Ⅲ 総会 (16:20 ~ 16:50)

新入会員の紹介があり、次回大会、Castel 教授の講演会、学術会議の会員候補者、推薦人に関して理事会の審議の結果が報告された。

Ⅳ 懇親会 (17:00 ~ 18:30)

桃正飯店において、多数の会員の参加をえて盛大に開催された。

Ⅴ 大会出席者

愛知 正博
岩崎 一生
大西 公照
尾崎 正利
木村 照一
斎藤 彰
杉林 信義
土井 輝生
西 賢
廣江 健司

青木 清
欧 龍雲
大原 栄一
加来 昭隆
園友 明彦
佐藤 やよい
鈴木 敏英
道垣内 正人
根本 洋一
本浪 章市

畑場 準一
大須賀 度
岡本 善八
笠原 俊宏
河野 俊行
佐野 寛
田村 精一
鳥居 淳子
林 脇ト子
真砂 康司

石黒 一憲
大仲 淳介
奥田 安弘
河原田 有一
小山 昇
澤木 敬郎
出口 耕自
中野 俊一郎
早田 孝郎
松岡 博

三ヶ月 章
山内 惟介
岩崎 相
山下 次郎

三浦 正人
山田 録一
伊東 まみ子
桑原 康行

矢ヶ崎 武勝
横山 潤
高桑 昭
桜井 雅夫

矢澤 昇治
渡辺 惺久
夕喜 寛

以上 55名

1985年春

第72回大会

1985年 5月13日(月)

10:00 ~ 19:00

於 獨協大学中央棟三階大会議室

I 研究報告会 (10:00 ~ 11:30, 13:30 ~ 15:00, 15:10 ~ 16:40)

(1) ハーグ国際私法会議 第一五会期の成果について

報告 上智大学 池原 孝雄氏
法務省 菊池 洋一氏
座長 京都大学名誉教授 溜池 良夫氏

(2) 国際私法における無効婚子の嫡出性について

報告 関西学院大学 小山 昇氏
座長 成城大学 島居 淳子氏

(3) 渉外的労働関係における裁判例とその問題点について

報告 三重短期大学 尾崎 正和氏
座長 関西学院大学 田村 精一氏

II 理事会 (11:30 ~ 13:30)

出席者 山田理事長 畑場, 池原, 欧, 川又, 澤木
溜池, 西, 早田, 三浦, 山本 各理事, 岡本 監事

1. 協議事項

(1) 新入会員について

理事長より、次の五名の入会申込があったので、規約
6条にもとづいて理事会に諮る。理事会において11名も
これを承認した。

- ① 岡野 祐子氏 (大阪大学 院生) 国際私法
紹介者 松岡 博 会員
- ② 須賀 昭仁氏 (上智大学 院生) 国際私法
紹介者 池原 孝雄 会員

- ③ 王小平氏 (上智大学 院生) 国際私法
紹介者 池原季雄会員
- ④ 山田恒久氏 (慶応大学 研究生) 民事訴訟法、国際私法
紹介者 渡辺惺之会員
- ⑤ 元永和彦氏 (東京大学 院生) 国際私法
紹介者 石黒一憲会員

なお、理事長より鈴木良明氏(三省堂)の傍聴を許可した旨報告があった。

(2) 決算報告について

別紙の1984年度決算案につき、理事長より説明がなされた。1984年度には、学術会議法改正に伴う会員候補者の推薦といった事務が加わったため、支出項目として学術会議関係費をおこしたこと、71回大会より報告者への資料作成費補助金および開催校への援助金を支出したため支出額が増加したこと、今年度より会費値上げとなり財政的には支出の増加をカバーしようことが報告され、いずれも理事会において了承した。なお、報告要旨集については、外部に印刷を発注することとした。

岡本監事より、監査を行い適正であった旨の報告があり、理事会として決算案を承認した。

(3) 次期大会について

国際法学会が今秋10月12日、13日に神戸大学で行われる予定であるので、慣例に従い翌日の10月14日(月)に関西学院大学で行うことに決定した。

報告者としては、中野俊一郎氏(神戸大学)、鈴木敏英氏(関西大学)、大須賀虔氏(成城大学)、貝瀬幸雄氏(東京大学)、山内惟介氏(中央大学)、野村美明氏(大阪大学)等の名が挙げられ、研究連絡委員に交渉を委ねることが了承された。なお、報告者との関連で、近時関連分野の学会が増えていることから、他の学会との調整を考慮してほしいとの意見が出された。

来年度の開催校については、来春が立命館大学、来秋が

中央大学 または 東京大学で開催してはとの提案が理事長よりなされ、それらの大学に依頼することに決定した。

(4) 学会研究連絡委員について

理事長より、これまで本学会には研究連絡委員がなかったため、報告者への依頼や連絡について、国際法学会の報告との関連もあることから、事実上国際法学会の研究連絡委員に事務を委任してきたが、本学会にも正式に研究連絡委員をおくことにしたい旨の提案がなされた。これについて、畑場理事から、報告者にとっても研究連絡委員と学会事務局のどちらへ連絡すればよいかといった混乱を生じることもあるので、事務分担を明確にする必要があるとの意見が出された。構成については、国際法学会の研究連絡委員の中から2名、およびそれ以外にとくに若手が2名を選んではどうかといった意見も出されたが、構成も含めて人選については秋の大会までに検討することとし、今回の理事会においては、学会研究連絡委員をおくことについてのみ決定した。

(5) 常務理事について

理事長より、前年度の学術会議会員候補者の選定に関する問題のように、緊急を要する重要問題が生じることが今後も考えられ、それらに機敏に対応するため、若干名の常務理事をおくことにしたい旨の提案がなされた。この構成についても、様々な意見が出されたが、今回の理事会では、秋の大会において常務理事についての提案を行うことについてのみ決定した。

(6) 電話料金の支給について

学会研究連絡委員および常務理事をもうけるにあたって、その事務連絡に要する電話料金を全体として年間1万円づつ支給してはどうかとの提案が理事長よりなされた。これについては、現実にとりかかるといえるが、実費制にするかといった問題もあり、秋の大会までに検討することとされた。なお、現在、事務局については実費で行っているが、これについても一応検討に含めることとした。

(7) 役員改選について

理事長より、規約11条により役員全員の任期が満了するので、慣例により理事会で候補者を選び、規約10条において総会に諮りたい旨の提案があり、これを承認した。ついで理事長から、現在の理事・監事全員の再任と若干名の理事の増員が提案された。これについては、会員数と役員数のバランス、理事の役割の内題が議論された。また、多くの学会では監事が複数であるとの意見も出され、結局理事会としては次のとおり提案することに決定した。

焔場、池原、欧、桑田、澤木、溜池、西、早田、本浪、丸岡、三浦、山田、山本現理事に加えて、新たに田村精一会員と鳥居淳子会員を理事候補とし、岡本現監事と川又理事を監事候補とする。

2. 報告事項

(1) 学術会議について

理事長より、前回理事会の結論にもとづいて、日本学術会議の会員候補者として本学会から溜池良夫会員を届出たところ、会員推薦管理会より会員候補者の資格を有する旨の通知があったこと、推薦人として澤木会員と山田理事長の2名を届出たことの報告があった。

(2) その他

理事長より、法例改正に関する意見聴取について、十分に学会としての準備体制ができておらず、また改正作業もまだ緒に付いたばかりなので、科研費等の申請については今年度は見送ることにしたとの報告があり、理事会もこれを承した。

また、懸案となっていた規約改正については、次回大会以後に再度提案するとの報告があった。

III 総会 (16:40 ~ 17:20)

1. 役員改選の件

理事長より、理事・監事の任期が満了したので規約10条により総会にその改選を諮りたい旨の発言があり、とくに他の方法

によるとの提案がなければ、従前の例に倣い、理事会で予め決定した候補者について賛否を決める方法によりたいとの提案がなされ、理事会案が異議なく承認された。

2. 報告事項

理事長より新入会員の紹介がなされた後、1984年度決算報告が承認され、次期大会、日本学術会議会員候補者の件について報告がなされた。

IV 新理事会

新理事会において、理事の互選により山田理事が理事長に選出された。

V 懇親会 (17:30 ~ 19:00)

独協大学 中央棟 10階ホールにおいて、多数の会員の参加のもとに、盛大に開催された。

VI 大会出席者

愛知正博
池原季雄
欧龍雲
大仲淳介
河原田有一
桑原康行
桜井雅夫
沢木敬郎
高奉昭
出口耕自
西賢
牧野通晃
日本興業銀行
山本敬三

青木清
石黒一憲
大須賀虔
岡本善八
川又良也
越川純吉
桜田嘉章
佐野寛
多喜寛
鳥居淳子
根本洋一
真砂康司
山内惟介
渡辺惺久

青山善充
伊東すみ子
大原栄一
尾崎正利
木棚照一
小山昇
佐藤智夫
杉林信義
田村精一
道垣内正人
早田芳郎
松岡博
山下次郎
横山潤

焔場津一
岩崎柏
奥田安弘
加来昭隆
因友明彦
斎藤彰
佐藤中よひ
鈴木敏英
溜池良夫
中野俊一郎
広江健司
三浦正人
山田鏡一
王小平

須賀昭仁

山田恒久

岡野祐子

元永和彦

以上 60名

1985年秋

第73回大会

1985年10月14日(月)

10:00 ~ 18:30

於関西学院大学 法学部
本館三階会議室

I 研究報告会 (10:00 ~ 11:30, 13:00 ~ 14:30, 14:40 ~ 16:10)

(1) 国際裁判管轄の決定基準としての「住所」概念について
- 「一般的住所」と「特殊的住所」の構成 -

報告 熊本大学 矢澤昇治氏
座長 神戸大学 西賢氏

(2) 外国未確定裁判の執行

報告 神戸大学 中野俊一郎氏
座長 同志社大学 岡本善八氏

(3) 民事手続に関する国際的立法(多数国間条約)の状況

報告 弁護士 高桑昭氏
座長 京都大学 川又良也氏

II 理事会 (11:30 ~ 13:00)

出席者: 山田理事長、 畑場、 欧、 澤木、 田村
(溜池、 鳥居、 西、 早田、 本浪、 丸岡、 三浦、
山本各理事、 岡本、 川又各監事

I 協議事項

(1) 新入会員について

理事長より、規約6条にもとづいて次の1名の入会
が理事会に諮られ、理事会においてこれを承認した。

黒田典子氏 (大阪大学大学院MC) 国際私法
紹介者 松岡博会員

なお、須藤次郎会員（慶応大学）より退会の申し入れがあったことが理事長より報告された。

(2) 次期大会について

国際法学会が来春5月18日に関西学院大学で行われる予定であるので、慣例に従い翌日の5月19日（月）に立命館大学で行うことに決定した。

報告者としては、池原会員が今秋ハーグ会議特別委員会に出席しているのので、その報告を一応予定することにした。他に若手がさといふことで、斎藤彰氏（神戸大）、佐藤やよみ氏（東京大）、眞砂康司氏（関西大）等の名前が挙げられ、斎藤氏については、ハーグ会議のテーマでもある「動産売買の準拠法に関する条約」を研究していることから、次回大会での報告を予定し、佐藤、眞砂両氏については、研究連絡委員に交渉を委ねることが了承された。

来年度秋期の開催校については、一応東京大学に依頼することとした。

(3) 常務理事の選任について

前回理事会で、理事長より諮られた常務理事について、関東から池原、早田両理事、関西から溜池、三浦両理事の四氏に委嘱したい旨、理事長より提案がなされ、理事会においてこれを承認した。

なお、今後常務理事を規約に規定するかどうかなどの問題については、規約改正の際にあわせて検討することとされた。

(4) 学術会議研究連絡委員について

学術会議の研究連絡委員として、現在、畑場、山田両会員と国際法学会から澤木会員の三氏にお願いしているが、国際法学会の運営委員が交代するため、研究連絡委員の変更があるがもしれない旨（今期の研究連絡委員の選任の際に、国際法学会の運営委員会の経費節約のために、運営委員を研究連絡委員にあてることにしたため）、理事長から報告があり、この問題については、理事長が学術会議会員である溜池会員と相談して対処することが了承された。

(5) 学会研究連絡委員について

前回の理事会で決定された学会研究連絡委員について、国際法学会の研究連絡委員の内、2名とそれ以外にとくに若手がさ2名を選ぶことにしたいが、国際法学会の研究連絡委員も決っていないので、人選は理事長に一任してほしいとの提案があり、これを承認した。

(6) 電話料金の支給について

学会研究連絡委員の事務連絡に要する電話料金について、全体として年間1万円を支給してはどうかとの提案が理事長よりなされ、支給することに決定した。

常務理事については、利用状況等を検討した上で、次回理事会で審議することとし、事務局は現行通り実費制でいくことが承認された。

(7) 規約改正について

規約改正については、提案者である池原会員が欠席のため次回理事会で検討することとされ、規約改正のポイントについて理事長から短い説明があった。

2. 報告事項

(1) 文部省科研費補助金の審査委員候補者の推薦について
学術会議より依頼のあった、科研費審査委員候補者として畑場会員を推薦した旨理事長より報告があった。

(2) その他

溜池会員より、学術会議の活動状況について報告があった。

III 総会（16・20～16・50）

理事長より、新人会の紹介と次期大会についての報告が

なされた。

IV 懇親会 (17:00 ~ 18:30)

関西学院大学構内の新月クラブにおいて 会員多数の参加のもとで盛大に開催された。

V 大会出席者

青木 清	青山 善充	畑場 津一	五十嵐 清	欧 龍雲
大西 公照	岡野 祐子	岡本 善八	奥田 安弘	尾崎 正利
貝瀬 幸雄	加来 昭隆	川又 善也	河原田 有一	木村 照一
因友 明彦	小山 昇	斎藤 彰	桜田 嘉章	佐藤 やよひ
佐野 寛	澤木 敬郎	鈴木 敏英	砂川 恵伸	高桑 昭
田村 精一	溜池 良夫	出口 耕自	道垣内 正人	島居 淳子
中野 俊一郎	西 賢	根本 洋一	野村 美明	林 脇トシ子
早田 芳郎	廣江 健司	本浪 章市	真砂 康司	松岡 博
丸岡 松雄	三浦 正人	矢澤 昇治	山内 惟介	山下 次郎
山田 恒久	山田 鏡一	山本 敬三	横山 潤	渡辺 惺之
日本興業銀行 (山口氏)		黒田 典子		

以上 52名

傍聴者

奥 貫 満	(有斐園)
福永 有利	(北大)
菅原 郁夫	(東北大)

1986年春

第74回大会

1986年5月19日(日)

10:00 ~ 18:30

於 立命館大学末川記念会館
第五会議室

I 研究報告会 (10:00~11:30, 13:45~15:15, 15:25~16:30)

(1) 擬似外国会社の法規制の問題

報告 関西大学 真砂 康司氏
座長 同志社大学 岡本 善八氏

(2) 国際動産売買における実質法の統一法と国際私法

報告 神戸大学 斎藤 彰氏
座長 広島大学 山本 敬三氏

(3) 11-7 国際私法会議、1985年特別会期の成果

— 国際的有体動産売買契約の準拠法について —

報告 上智大学 池原 季雄氏
座長 弁護士 高桑 昭氏

II 理事会 (11:30 ~ 13:45)

出席者: 山田理事長, 畑場, 池原, 欧, 澤木, 田村,
溜池, 島居, 西, 早田, 本浪, 丸岡, 三浦,
山本 各理事, 岡本, 川又 各監事

1. 協議事項

(1) 新入会員について

理事長より、規約6条にもとづいて次の5名の
入会が理事会に諮られ、理事会においてこれを
承認した。

① 原 茂 大一氏 (青山学院大学教授) 商法
紹介者 江泉 芳信 会員

- ② 山田 恒夫氏 (東京理科大学教授) 国際取引法, 民法
紹介者 早田 芳郎 会員
- ③ 高杉 直氏 (大阪大学大学院 M.C.) 国際私法
紹介者 松岡 博 会員
- ④ 不破 茂氏 (大阪大学大学院 M.C.) 国際私法
紹介者 松岡 博 会員
- ⑤ 神前 禎氏 (東京大学大学院 M.C.) 国際私法
紹介者 石黒 一憲 会員

なお、理事長より 鈴木良明氏 (三省堂) の傍聴を許可した旨の報告があった。

(2) 決算報告について

1985年決算案につき、別紙にもとづいて理事長より説明がなされた。これに対し、岡本、川又両監事が適正である旨の監査報告があり、理事会として同決算案を承認した。

(3) 名誉理事および未納者の会費徴収について

名誉理事に対しては会費の徴収をしないこと、および名誉理事は理事会に出席することはできないが議決権を有しないことが確認された。

未納者の会費徴収については、理事長より「未納分は遡って徴収する。但し、前2年分まで遡るのみとする。」との提案がなされ、理事会においてこれを承認した。

また、3年以上の滞納者には、催告をし、催告しても納入がない場合には、退会とするか否かを、次の理事会に諮り、之を決定した。

(4) 次期大会について

国際法学会が今秋10月18日、19日に法政大学で行なわれる予定であるので、慣例に従い翌日の10月20日(A)に立教大学で行なうことに決定した。

報告者としては、貝瀬幸雄氏 (東京大学)、佐藤やよひ氏

(東京大学)、野村美明氏 (大阪大学) 等の名が挙げられ、研究連絡委員に交渉を委ねることが了承された。また、統一テーマの設定の可否についても併せて研究連絡委員において検討することになった。

なお、来春の開催校については東京大学が予定されている旨、理事長より報告された。

(5) 「学術会議だより」の学会機関紙への掲載について
「学術会議だより」の学会機関紙への掲載の件については、国際法学会の対応を注視しながら、前向きに検討することとした。

(6) 学術会議研究連絡委員について

畑場理事が学術会議研究連絡委員を辞任した旨の申し出があり、理事会としてこれを承認した。なお、後任には、国際法学会選出の澤本理事をあて、別途国際法学会から委員が補充されること、国際法学会理事長との了解が済んでいるが、時期等の関係もあり、正式には後日決定される旨、理事長より報告された。

(7) 法例改正の検討について

理事長より、現在、法制審議会において検討のすすめることとしている法例の一部改正について、本年7月下旬にその中間報告が公表される予定であるので、それに関する検討会議を学会主催で開催したい旨の提案があり、理事会においてこれを承認した。

具体的には、東京と京都において、それぞれ法制審議会国際私法部会長の出席を得て8月頃に開催する予定である旨、理事長より報告された。

(8) 規約改正について

別紙のように、規約改正に関する理事会案が決定された。主要な改正点としては、役員任期が2年

(現行11条)から3年(改正案10条)に変更されること、事務所所在地が変更されること(2条)などが挙げられる。
なお、表現上の問題点等については常務理事会に一任することとした。

(9) その他

学会案内に各報告の座長を明記するかどうかの問題が出されたが、特にその必要はなく現行どおりでよいとされた。

2 報告事項

(1) 西山重和会員の逝去について

西山重和会員が3月1日に逝去され、その葬儀にあたり国際私法学会より弔電をうけた旨の報告があった。

なお、4月23日に和田誠一会員が逝去された旨の報告が寄せられた。

(2) 事務局移転について

理事長の所属変更に伴い、学会の事実上の事務所を名古屋大学法学部研究室から愛知学院大学法学部研究室に移転したことが、理事長より報告された。

III 総会 (16:35 ~ 16:50)

理事長より、新入会員の紹介と次期大会についての報告がなされた。

ついで、1985年度決算報告が承認され、法例改正に伴う学会主催の検討会議の件が報告された。

IV 懇親会 (17:00 ~ 18:30)

末川記念会館1階食堂において会員多数の参加のもとで盛大に開催された。

V 大会出席者

愛知正博	青木清	畑場準一	五十嵐清	池原季雄
石里一憲	伊東みどり	岩崎一生	江泉芳信	政龍豊
大仲淳介	大西公照	大原栄一	岡野祐子	岡村寛
岡本善八	奥田安弘	尾崎正利	笠原俊宏	川又良也
河村博文	河原田有一	神前禎	木棚照一	国友明彦
里田典子	桑原康行	河野俊行	越川純吉	小山昇
斎藤章	桜井雅夫	櫻田嘉章	佐藤まゆみ	佐野寛
澤木敬郎	清水幸雄	鈴木敏英	石川恵伸	高桑昭
高杉直	高島トシ子	田村精一	滝池良夫	出口耕自
道垣内正人	鳥居淳子	中野俊一郎	西賢	野村美明
早田芳郎	原茂大	廣江健司	本浪章市	不破茂
真砂康司	松岡博	丸岡裕雄	三浦正人	元永和彦
矢澤昇治	矢吹徹雄	山内惟介	山田恒夫	山田恒久
山田録一	山本敬三	横山潤	渡辺惺之	

以上 70名

傍聴者

鈴木良明 (三省堂)

1986年秋

第75回大会

1986年 10月20日(月)

10:00 ~ 18:30

於 立教大学
セントホー ルズ 会館

I. 研究報告会 (10:00 ~ 11:30, 13:00 ~ 14:30, 14:40 ~ 16:10)

(1) ヴェングラの強行法規の特別連結論についての考察

報告 東京大学 佐藤 由美氏
座長 獨協大学 横山 潤氏

(2) 国際的合意管轄の基礎理論

報告 東京大学 貝瀬 幸雄氏
座長 大阪大学 松岡 博氏

(3) アメリカ国際関係法リスティメントの改訂について
- 国家管轄権を中心に -

報告 大阪大学 野村 美明氏
座長 神戸大学 西 賢 氏

II 理事会 (11:30 ~ 13:00)

出席者 山田 理事長、畑場、池原、欧、~~井上~~、澤木、田村
溜池、鳥居、西、早田、本浪、三浦 各理事、
岡本、川又 各監事

1. 協議事項

(1) 新入会員について

理事長より、規約6条にもとづいて次の1名の入会が理事会に
諮られ、理事会においてこれを承認した。

井上 ~~孝宣~~ 氏 (中央大学大学院 DC) 国際私法
宣信 紹介者 山内 惟介 会員

(2) 次期大会について

国際法学会が来春 5月17日に立教大学で行なわれる予定
であるので、慣例に従い翌日の5月18日(月)に東京大学で行なうこ
とに決定した。

報告者としては、欧 龍雲氏に報告を依頼することに決定した。
他の候補としては、小原(神戸大)、鈴木(関西大)、桜井(青山学院)、井上
(中央大) 各氏等の名が挙げられ、研究連絡委員に交渉を委ねることが
了承された。なお、報告者の選定については、一般論として研究に従事
している者の中からというのが適当であるとの点で意見が一致した。

来年度秋季の開催校については、大阪大学または同志社大学
に依頼したいとの提案が理事長よりなされ、了承された。

(3) 法例改正向題研究会について

理事長より、前回の理事会で承認された法例改正向題の
研究会を、常務理事との協議の上で、9月8日と13日の両日
東京(私学会館)と京都(御車会館)で開催したことにつき
事後承認が求められ、理事会もこれを了承した。

これに関連して、法務省民事局参事官室より本学会宛に法例
改正についての意見照会がきており、これにどう回答するかが理事
長より認められた。これについては、学会として統一的な意見を出す
ことは困難であり、また研究会での議事録を提出することにも向
題があるので、学会としてはとくに意見を述べないことに決定した。
もっとも、今回の意見照会は学会会員の意見を広く聴取したい
との趣旨であると解されるので、総会において理事長が今回の
意見照会の趣旨と各会員が個人または有志で参事官室へ意見
を提出することが可能である旨を報告するのがよいとされた。

(4) 昭和62年度科研費補助金の審査委員候補者の推薦について

学術会議より依頼のあった科研費審査委員候補者として
畑場 会員を推薦した旨 理事長より報告があった。

(5) 「学術会議だより」の機関誌掲載について

「学術会議だより」の学会機関誌への掲載については、国際
法学会が国際法外交雑誌に掲載することにしたが、本学会の
報告要旨集への掲載はあまり適当と思われぬことや、本学会会員の

大半が国際法学会会員でもあることから、本学会としては機関誌への掲載は行なわないことにしたい旨の提案が理事長よりなされ、これを承認した。

(6) 会員名簿の作成について

現在の会員名簿は1989年5月に作成したものであり、2年程度で改訂するとのことであったが、春には移動が多しことや開催校で最新の名簿が作成されていることから、来春の改訂は当分の間見合わせることにしたい旨の提案が理事長よりなされ、了承された。

また、理事長より、会費の長期未納者(コールマン、鈴木五十三、田中徹、森征一、山戸嘉一の五氏)について、会費納入の催告(期限来年1月末頃)を行い、なお納入がない場合にはその処理を次の理事会に諮りたい旨の提案があり、これを了承した。

(7) 開催校援助費の値上げについて

学会開催校への援助費については70回大会の理事会で当面2万円とすることが決定されたが、他学会に比べて少額であること(例、国際法学会1回大会1万円、海法学会4万円)と実際の運営上これでは足りないことから5万円に値上げしたいとの提案が理事長よりなされ、今大会より5万円を開催校に援助することに決定した。

なお会費については、値上げをしても2年であることと、財政的にはまだ多少余裕があることから当面現行通りでいくこととされた。

(8) 規約改正について

理事長より、前回の理事会で決定された規約改正案について確認を求められ、これを総会に提案することが承認された。

なお、若干の字句の問題点については事務局に一任することとされた。

2. 報告事項

(1) 齋藤武生、奥方正雄兩名誉理事および平林真一会員の逝去について

齋藤武生名誉理事が9月20日に逝去され、ご葬儀にあたり国際私法学会より供花を行った(供花料2万円)旨

の報告があった。

奥方正雄名誉理事が10月10日に逝去され、ご葬儀にあたり国際私法学会より御香料(2万円)をお供えした旨の報告があった。

また、平林真一会員が9月7日に逝去されたことが報告された。

(2) 学術会議研究連絡委員について

前回の理事会で了承されたように、畑場会員が学術会議研究連絡委員を辞任し、その後任に国際法学会選出の澤木会員をあてた旨の報告があった。

Ⅲ 総会 (16:20 ~ 16:50)

齋藤武生、奥方正雄兩名誉理事および平林真一会員の逝去について報告がなされた。

次いで、新入会員の紹介、次期大会、法例改正の意見照会、「学術会議だより」の機関誌掲載、会員名簿作成について報告があった。

最後に、学会規約の改正について、理事会案の趣旨説明がなされ、規約17条にもとづき総会出席会員89名(内委任状28名)の3分の2以上の賛成をもって、理事会案が承認された。

Ⅳ 懇親会 (17:00 ~ 18:30)

セントホールス会館1階の食堂において、会員多数の参加を得て盛大に開催された。

Ⅴ 大会出席者

愛知 正博	青山 善充	畑場 準一	五十嵐 清
池原 季雄	石黒 一憲	井上 宜信	江泉 芳信
玉小平	欧 龍雲	大伴 淳介	大西 公照

大原 栄一、尾崎 正利、木曾 俊宏、佐藤 照一、清水 彰、鈴木 幸雄、高瀬 敏英、溜池 直夫、野村 淳子、廣江 美明、松下 健司、山田 次郎、日本興業銀行 (2名)

野原 喜雄、小神 明彦、岡井 雅夫、佐藤 幸夫、佐賀 昭仁、高島 恵伸、山口 耕自、中野 芳郎、早田 茂正、三浦 正人、山下 昇潤

岡本 善八、貝瀬 幸雄、川又 良也、黒田 典子、佐野 寛子、杉野 徹明、曾野 和寛、西道 賢一、西原 茂一、本浪 章市、矢澤 昇治、山田 恒夫、渡辺 惺之

奥田 安弘、加来 昭隆、河原田 有一、小藤 昇哲、澤林 敬郎、杉林 信義、高桑 昭精、岡村 卓一、根本 洋一、塚 康司、山内 恒久

以上 77 名

傍聴者 1 名

1987年春

第76回大会
1987年5月18日(月)
10:00 ~ 19:00
於 東京大学山上会館

I 研究報告会 (10:00~11:30, 13:00~14:30, 14:40~16:10)

(1) 会社の国籍 - アメリカの国際投資の保護・規制を中心に -
報告 青山学院大学 桜井雅夫氏
座長 神戸大学 小原喜雄氏

(2) いわゆる手続公序に関する若干の考察
報告 杏林大学 山田恒久氏
座長 大阪大学 渡辺惺之氏

(3) 中国における涉外民事訴訟手続法及びこれをめぐり若干の問題点
報告 北海学園大学 欧龍雲氏
座長 立命館大学 木棚照一氏

II 理事会 (11:30~13:00)

出席者 山田理事長、畑場、池原、欧、沢木、田村、溜池、鳥居、西、早田、本浪、三浦、山本各理事、岡本監事

I 協議事項

(1) 新入会員について
理事長より、規約7条にもとづいて次の1名の入会が理事会に諮られ、理事会においてこれを承認した。

大村 芳昭氏 (東京大学大学院MC) 国際私法
紹介者 石黒一憲 会員

なお、理事長より、傍聴者7名あり、第70回大会の理事会決定に従って参加費として500円を徴収し、傍聴を許可した旨の報告があった。出版社の者の傍聴を一般研究者と同様に認められたことについて意見が述べられたが、今回は従来通り許可することとし、今後検討することとした。

(2) 決算報告について

1986年度決算案につき、別紙にもとづいて理事長より説明がなされた。これに対し、岡本監事から適正である旨の監査報告および川又監事から同旨の書面による監査報告があり、理事会として同決算案を承認した。

(3) 次期大会について

国際法学会が今秋10月17日、18日に同志社大学で行われる予定であるので、慣例に従い翌日の10月19日(月)大阪大学で行うことに決定した。

報告者としては、小原喜夫氏(神戸大学)、鈴木敏英氏(関西大学)、井之上宣信氏(中央大学)、曾野和明氏(北海道大学)、岡本善八氏(同志社大学)等の名が挙げられ、これまでの経緯から小原、鈴木の両氏と岡本氏を一応の候補者として決定し、研究連絡委員に交渉を委ねることが了承された。なお、次期大会を単発の報告で行うのかシンポジウム形式で行うのか自体も理事長が研究連絡委員と相談の上決定することが了承された。

来春の開催校については、大阪市立大学、同志社大学、名城大学、広島大学、岡山大学等が挙げられたが、国際法学会が未定なので一応関西地区で開催することとし、国際法学会に連動して決定することとされた。

(4) 学術会議会員候補者選出手続について

理事長より、日本学術会議第13期会員の任期が来年7月に満了するので、新たに第14期会員の選出手続を進める必要がある旨の紹介があり、この問題について協議した。

まず、学術研究団体の登録については、従来の国際関係法学に加えて民事法学にも登録することが考えられるが、実質的にはあまり意味がないことや会員候補者・推薦人を出す必要がでてくることなどから、国際法学会と同様に国際関係法学のみに登録することとした。

次に、会員候補者の選出については、前回と同様に全役員へのアンケートを参考に理事長と常務理事に人選を一任することが諮られたが、学会会員一般の参加ということも考えると広く学会会員から自薦・他薦を募り、それを参考に上記で決定することが望ましいとの意見が出され、今回は学会の全会員に対し自薦・他薦を募るとともに、全役員へのアンケートを行い、両者を参考に理事長と常務

理事に人選を一任することが決定された。なお、国際法学会との連絡の必要上次期大会までに候補者を決定する必要があるので、学会会員に対しては今回の総会でアナウンスをし、次期大会の案内状に自薦・他薦の用紙を同封することとし、あわせて全役員へアンケートを行うことが了承された。

(5) 役員改選について

理事長より、学会規約附則2により役員全員の任期が満了するので、慣例により理事会で候補者を選び、規約9条に従って総会に諮りたい旨の提案があり、これを承認した。ついで、理事長から、同規模の他学会の役員数との比較や役員任期が3年に延長されたこと等を勘案して、現在の理事・監事全員に加えて若干名の理事の増員も行いたい旨の提案があり、了承された。議論の結果、次の候補者を理事会として推薦することに決定した。理事候補者として、畑場、池原、政、桑田、沢木、田村、溜池、鳥居、西、早田、本浪、丸岡、三浦、山田、山本現理事に加えて新たに木棚照一(会員)と松岡博(会員)、監事候補者として岡本、川又現監事。

2. 報告事項

理事長より、会費の長期未納者については督促の結果全員納入があったことが報告された。

溜池理事より、学術会議の活動状況について報告があった。

Ⅲ 総会 (16:20~16:50)

1. 役員改選の件

理事長より、役員任期が満了するので規約9条により総会にその改選を諮りたい旨の発言があり、とくに他の方法による提案がなければ、従前通り理事会で予め決定した候補者について賛否を問う方法によりたいとの提案がなされ、理事会案が異議なく承認された。

2. 報告事項

理事長より、新入会員の紹介がなされた後、1986年度決算報告が承認された。ついで、次期大会と日本学術会議会員候補者の選出について報告があった。

IV 新理事会 (17:00 ~ 17:20)

新理事会において、理事の互選により三浦理事を理事長に選任した。ついで、三浦新理事長より、規約12条に従って従来通り常務理事を選任したい旨の提案があり、池原、溜池、早田、山田各理事を選任した。また、学会の事務所は規約2条に従って、新理事長の所属大学である名城大学に置くこととし、学会事務については事務の継続性を考慮して秋季大会までは佐野会員に依頼することが了承された。最後に、三浦新理事長の就任の挨拶に続いて、山田理事長から過去4年にわたって理事長を勤めることができたことに対して各理事への感謝の言葉が述べられた。

V 懇親会 (17:30 ~ 19:00)

山上会館内の食堂にて開催。塩野宏東京大学法学部長の挨拶の後、山田理事長、三浦新理事長の挨拶などがあり、会員多数の参加を得て盛大に行われた。

VI 大会出席者

森場 準一	青山 善克	愛知 正博	池原 季雄
石黒 一憲	伊東 すみ子	井上 宜信	江泉 芳信
海老沢 美広	岡野 祐子	岡田 安弘	大須賀 虔
尾崎 正利	大原 栄一	岡本 善八	阪 龍雲
河原田 有一	川又 良也	笠原 俊宏	加末 昭陸
桑原 康行	國友 明彦	澤木 敬郎	桜井 雅夫
佐野 寛	佐藤 やよひ	桜田 嘉章	杉林 信義
曾野 和明	溜池 良夫	高鳥 トシ子	高桑 昭
高杉 直	出口 耕自	高鳥 居淳子	徳岡 卓樹
中野 俊一郎	西 賢	根本 洋一	早田 芳郎

平塚 真	広江 健司	本浪 章市	松岡 博
三浦 正人	道垣内 正人	山田 鎌一	山田 恒夫
山田 恒久	山内 惟介	山本 敬三	矢澤 昇治
山下 次郎	横山 潤	渡辺 惺之	大村 芳昭
河村 博文	王 小平	五十嵐 清	

以上 58名

傍聴者 7名

西中園 浩 (東洋大学)	前山 武彦 (東洋大学)
織田 有基子 (学習院)	黄 季琛 (岡山大学)
花房 博文 (慶応義塾)	鈴木 良明 (三省堂)
石井 彰 (有信堂)	